

AV 一体型メモリータイプナビゲーション 取付説明書

このたびは、スズキ純正用品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

本書は AV 一体型メモリータイプナビゲーションの取付方法について記載しています。

取り付け前に、本書を必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。




本書に記載の取付位置以外の場所、または取付方法以外の方法で取り付けられたものについては、取付作業者の責任となります。取り付け後は本書および「取扱説明書」を必ずお客様にお渡しください。

なお、取り付けミスを避けるため、取り付けはスズキ代理店、またはスズキ代理店が指定した販売店で行ってください。

安全に関する表示

この取付説明書の中で使用されている記号は、次のようになっています。

警告、**注意**、**注記**、**アドバイス**のところは、とくにしっかりお読みください。

 警告	取り付け、取り扱い方法を誤った、または守らなかった場合、死亡または重大な傷害につながる恐れがある内容です。
 注意	取り付け、取り扱い方法を誤った、または守らなかった場合、傷害につながる恐れがある内容です。
注記	取り付け、取り扱い方法を誤った、または守らなかった場合、物的損害につながる恐れがある内容です。
 アドバイス	この用品のために守っていただきたいこと、または知っておくと便利な内容です。

適用車種および適用年式

品番	適用車種	適用年式
99098-83S42-K01 (SKXS806) ※ 99000-79Y19 (GCAEP8000S)	ランディ MZRA90C MZRA95C ZWR90C ZWR95C	2022年10月～

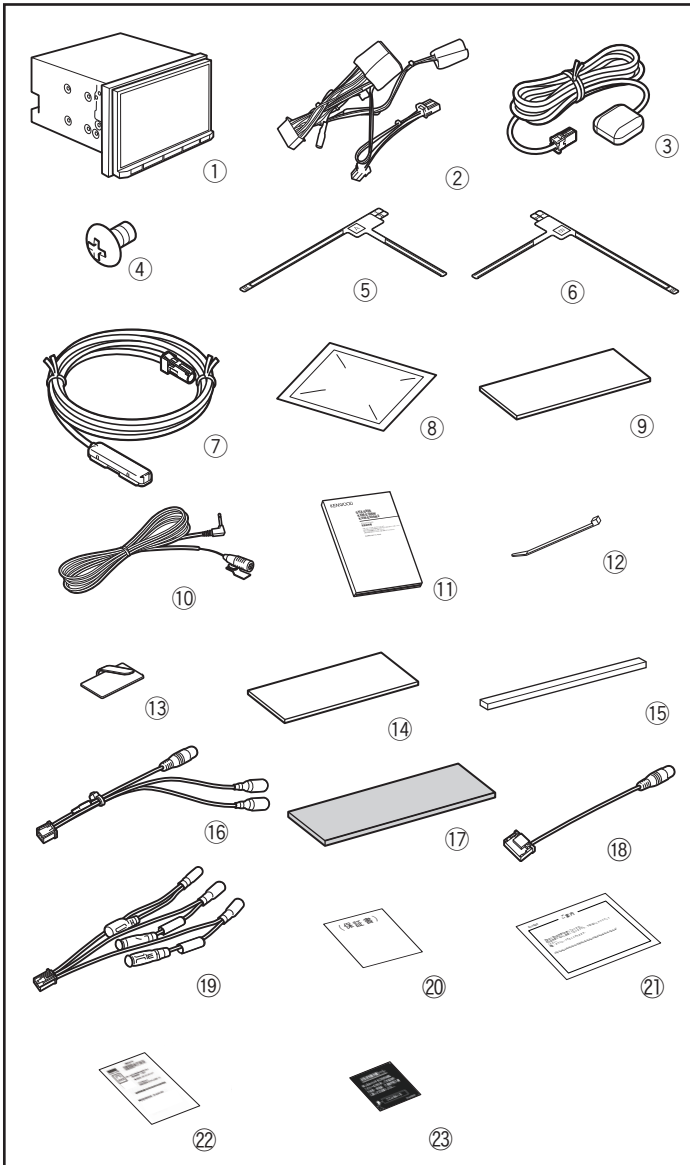
※ ETC / ナビゲーション接続ケーブル99000-79Y19 (GCAEP8000S) は別売です。

※ 別途、オーディオ交換ガーニッシュ (8インチ用)、アンテナ変換ケーブル、電源変換ハーネスが必要です。

詳細はアクセサリカタログをご覧ください。

構成部品

■ 99098-83S42-K01 (SKXS806)



図中 番号	品名	数量
①	ナビゲーション本体	1
②	電源ハーネス	1
③	GPS アンテナ	1
④	トラスネジ (M5 × 8mm)	6
⑤	アンテナエレメント A	2
⑥	アンテナエレメント B	2
⑦	アンテナケーブル	4
⑧	クリーナー	1
⑨	ソフトテープ (180mm × 50mm)	1
⑩	マイク	1
⑪	取扱説明書	1
⑫	束線バンド (150mm)	9
⑬	ケーブルクランパー	2
⑭	固定テープ (180mm × 50mm)	5
⑮	クッション (246mm × 20mm)	1
⑯	リヤカメラ接続ケーブル	1
⑰	保護シート (200mm × 50mm)	2
⑱	ドライブレコーダー接続ケーブル	1
⑲	電源ケーブル	1
⑳	保証書	1
㉑	補助説明書 (ご案内)	1
㉒	ハガキ	1
㉓	お客様情報保護シール	1

■ ETC / ナビゲーション接続ケーブル (別売品)

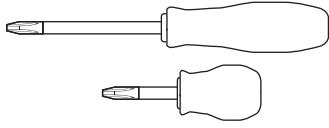
● 99000-79Y19 (別売品)



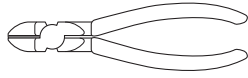
図中 番号	品名	数量
⑳	ETC / ナビゲーション接続ケーブル	1

使用工具

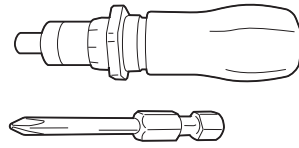
プラスドライバー（長、短）



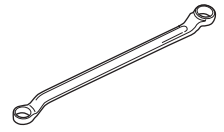
ニッパー



トルクドライバー（プラス）



めがねレンチ



プライヤー



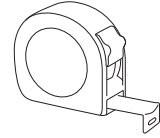
リムーバー



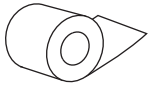
ヘラ



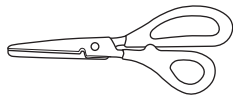
メジャー



養生テープ



ハサミ



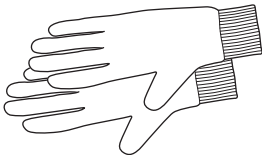
絶縁テープ



ビニールテープ



ケブラー手袋






取付上の注意事項




安全上のご注意

お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。


■ お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

 注意 (しなければならぬ)の内容です。	 禁止 (してはいけない)の内容です。	 実行 (かならず行っていただく)の内容です。
---	--	--

警告

-  **エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない**
エアバックが誤動作し、死亡事故の原因となります。
エアバック用ワイヤーハーネスに損傷を与えない
エアバックの動作不良の原因となります。
取り付けやアース配線に車の保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットを絶対に使用しない
制御不能や発火、交通事故の原因となります。
-  **説明書に従って取り付け・配線をする**
火災や故障の原因となります。作業は手順とおりに正しく行ってください。
作業前に必ずバッテリーの⊖端子を外す
外さずに作業をするとショートによる感電やけがの原因となります。
必ず付属の部品や指定の部品を使用する
機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。
コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。
車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。
コード類の配線時に金属部と接触するところは、絶縁テープを巻く
コード類の被覆が切れて金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。
取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する
車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。
ヒューズは、必ず規定容量品を使用する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。
ねじなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く
あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
車両部品の脱着時や配線作業時には、ケブラー手袋を装着して作業をする
シャープエッジ部などでケガをするおそれがあります。
-  **SRSエアバッグ装着車に取り付ける際に注意する**
車両復元後、SRSエアバッグ警告灯に異常がないか確認してください。

注意

-  **コードの扱いに注意する**
コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

注記

- ・ 車両部品の取り外しおよび取り付けは、サービスマニュアルを参照して行ってください。

アドバイス

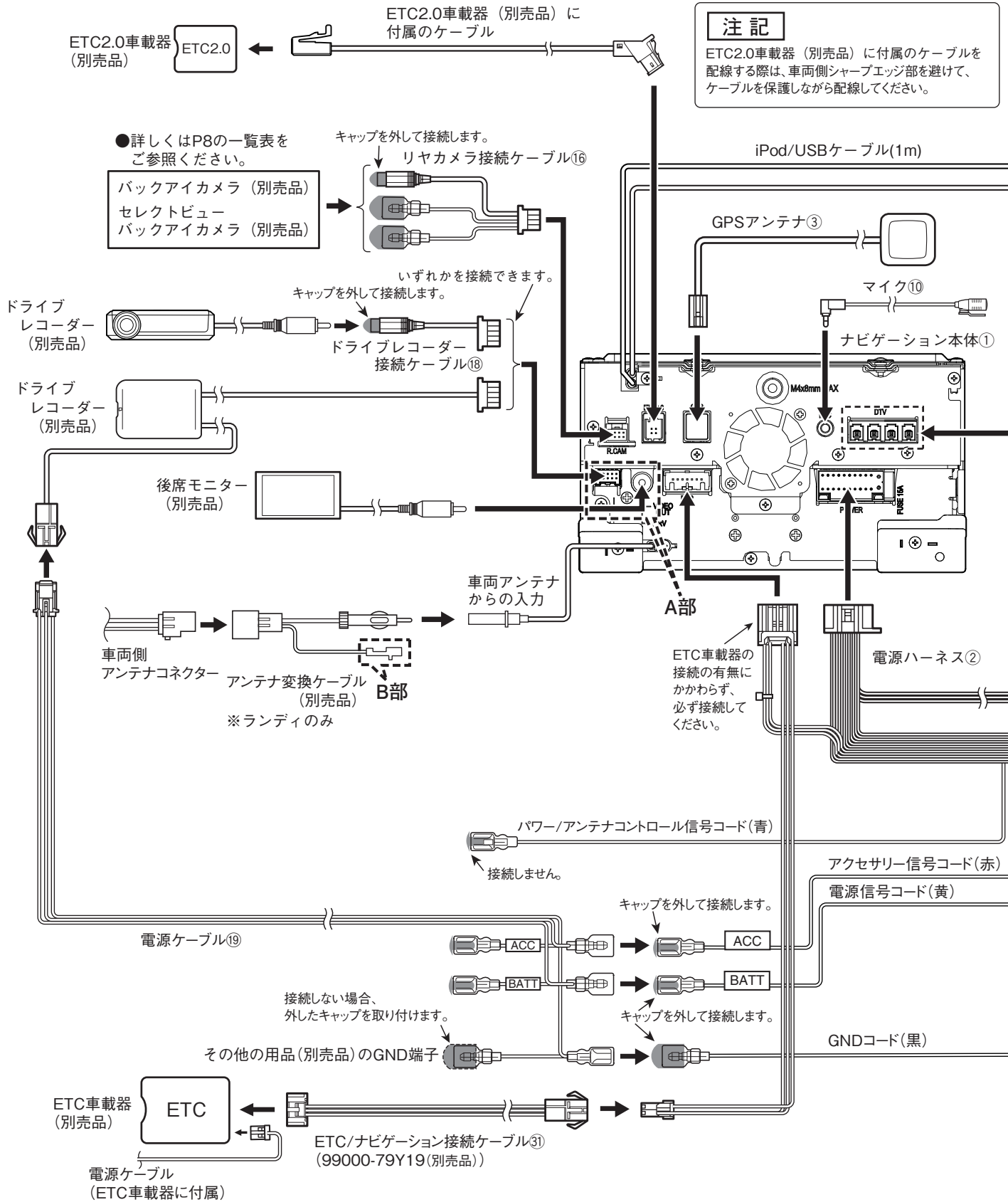
- ・ 車両より取り外したネジ類は、部品別に整理して、なくさないように十分注意してください。

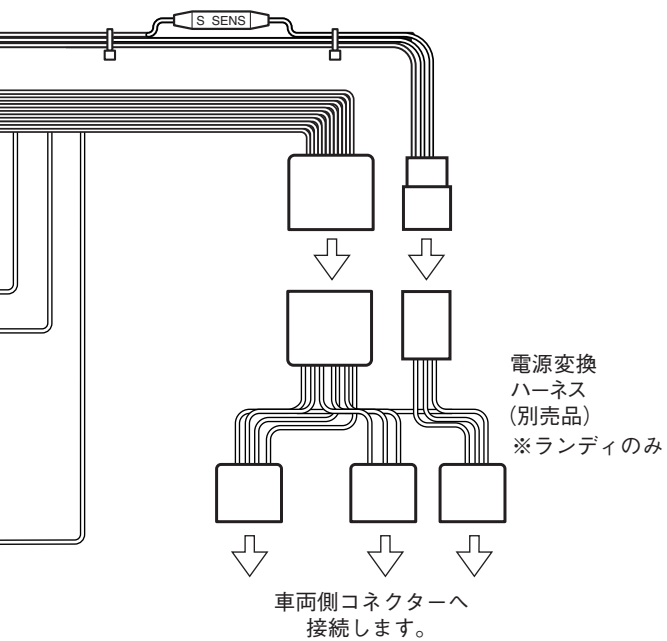
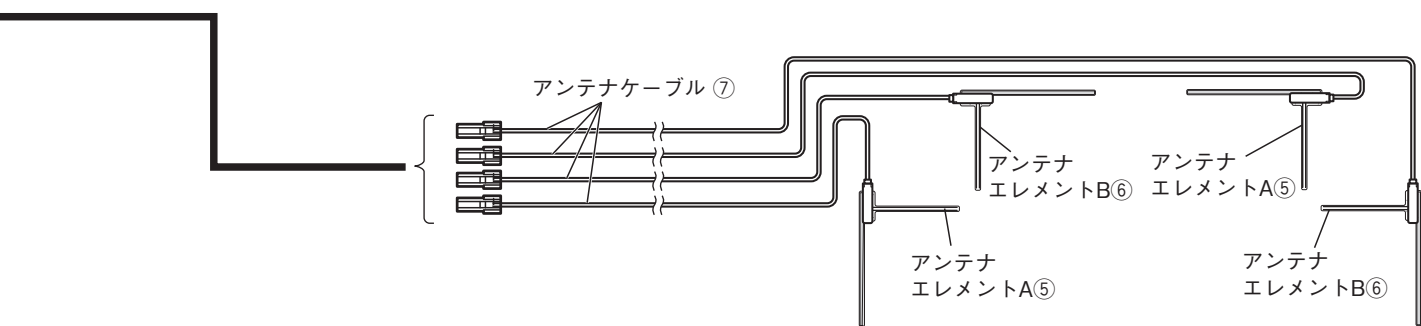
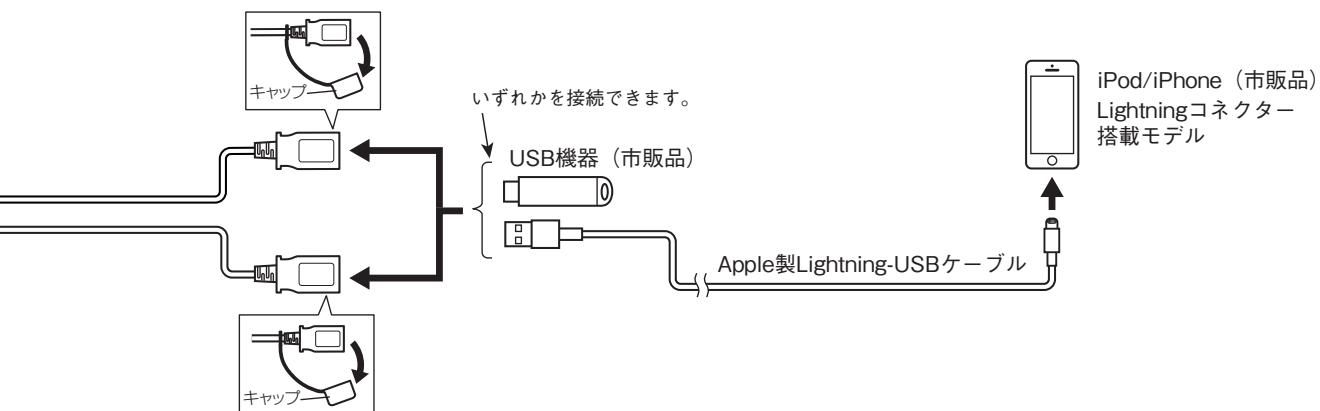
取付準備作業

1. 取付作業は、安全な場所に車を駐車させパーキングブレーキを確実に操作してください。
2. 取付作業中の車は、エンジンを停止しエンジンキーを取り外してください。
※キーレススタートシステム付車およびプッシュスタートシステム付車についてはリモコンを車外で保管してください。
3. 構成部品および部品点数が取付説明書どおりになっているか、また不良部品の混在等はないかを確認してください。

結線図

※ランディには設定のない別売品があります。





A部 ※脱落防止のため、ドライブレコーダー(別売品)、またはドライブレコーダー接続ケーブル⑱、後席モニター(別売品)の端子接続部分に固定テープ⑭(50×25mm)を上下方向から貼ります。

ナビゲーション
本体①背面

固定テープ⑭
(50×25mm)

後席モニター
(別売品)の端子

ドライブレコーダー(別売品)、
ドライブレコーダー接続ケーブル⑱の端子

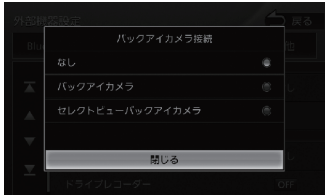
B部 ※ランディのみ
アンテナ変換ケーブル(別売品)の端子を、車両10PINコネクターの下図の位置に差し込みます。
コードを軽く引っ張り、ロックされたことを確認してください。

車両10PIN
コネクター

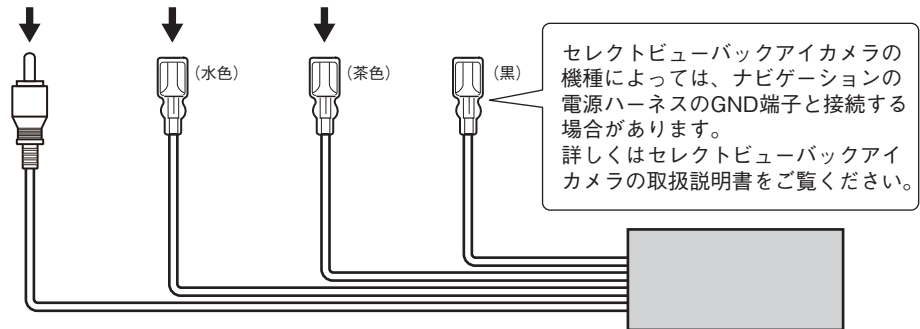
アンテナ変換ケーブル
(別売品)の端子

コード

- ▲ 注意**
- 各端子は完全にロックするまで差し込んで接続してください。
 - 接続しない端子はキャップを付けたままにしてください。
 - Apple製Lightning-USBケーブルは車内に放置しないでください。

接続・設定 カメラの種類		カメラとの接続				ナビ側カメラ設定
		映像 (RCA)	(水色)	(茶色)	(黒)	 詳細は「 バックアイカメラの設定 」を参照
別売オプション	バックアイカメラ	○	—	—	—	バックアイカメラ
	セレクトビューバックアイカメラ (運転支援機能付き)	○	○	○	—	セレクトビューバックアイカメラ
	セレクトビューバックアイカメラ	○	○	—	—	

○：接続 —：非接続

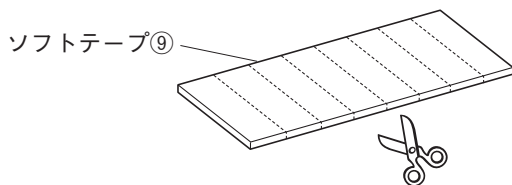


注記

車種によって設定されていないカメラがあります。
 ランディの場合は、「バックアイカメラ」を選択します。
 「セレクトビューバックアイカメラ」の設定はありません。

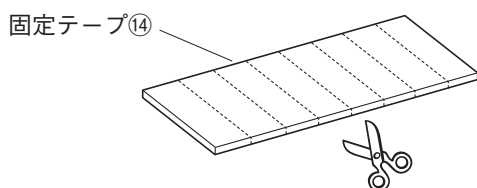
取付要領

■ ソフトテープの使い方



- ケーブルを固定するため、ソフトテープ⑨を図のように8等分にカットしてください。
アンテナケーブル⑦をフロントピラーに配線する際、使用します。

■ 固定テープの使い方 1

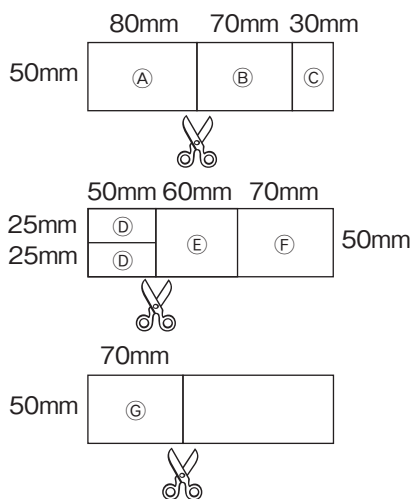


- ケーブルを固定するため、固定テープ⑭の5枚のうち2枚を図のように適宜カットしてください。

■ 固定テープの使い方 2

注記 異音防止のため、次の作業を行います。
取り付けの際は、車両部品に直接干渉しないよう作業してください。

(1) 以下 (2) (3) の作業を行うため、固定テープ⑭ 3枚を図のようにカットしてください。



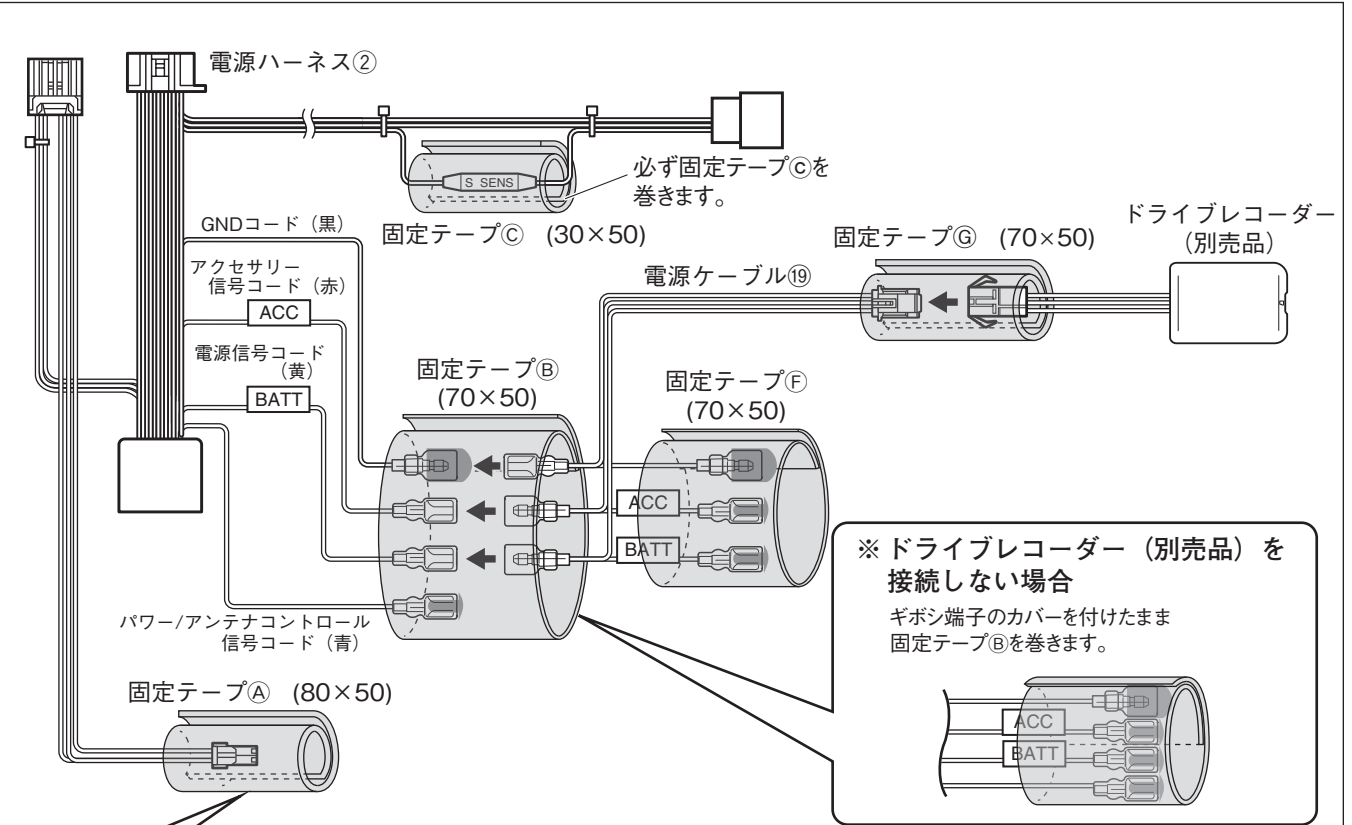
図中番号	用途
A	電源ハーネス②のETCコネクタ用
B	電源ハーネス②のギボシ端子用
C	電源ハーネス②のS SENS用
D	ドライブレコーダー(別売品)、ドライブレコーダー接続ケーブル⑱、後席モニター(別売品)のコネクタ用注1)
E	ドライブレコーダー接続ケーブル⑱のコネクタ用注2)
F	電源ケーブル⑲のギボシ端子用注3)
G	電源ケーブル⑲のドライブレコーダーコネクタ用注3)

注1) ドライブレコーダー(別売品)、後席モニター(別売品)を接続する際に使用します。使用方法はP7「結線図」をご覧ください。

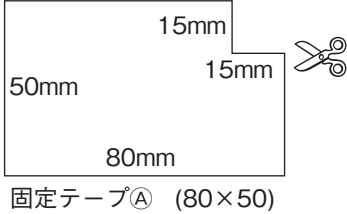
注2) ドライブレコーダー接続ケーブル⑱を接続する際に使用します。

注3) 電源ケーブル⑲を接続する際に使用します。

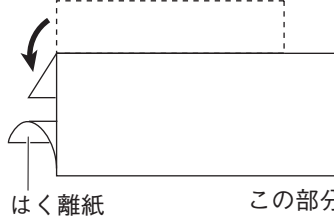
(2) 電源ハーネス②に固定テープ⑭を巻いてください。



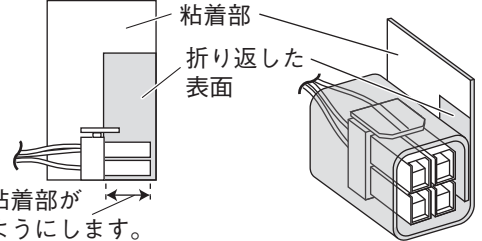
1. 固定テープ⑱ (80×50)を
図のように切り取ります。



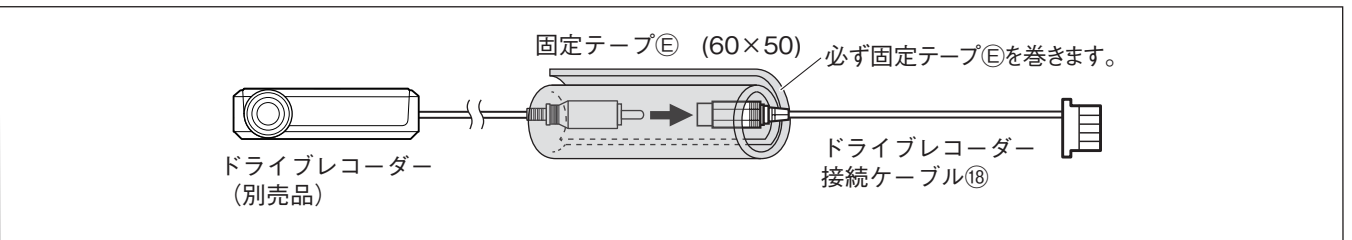
2. はく離紙をはがして、
凸部分を貼り合わせます。



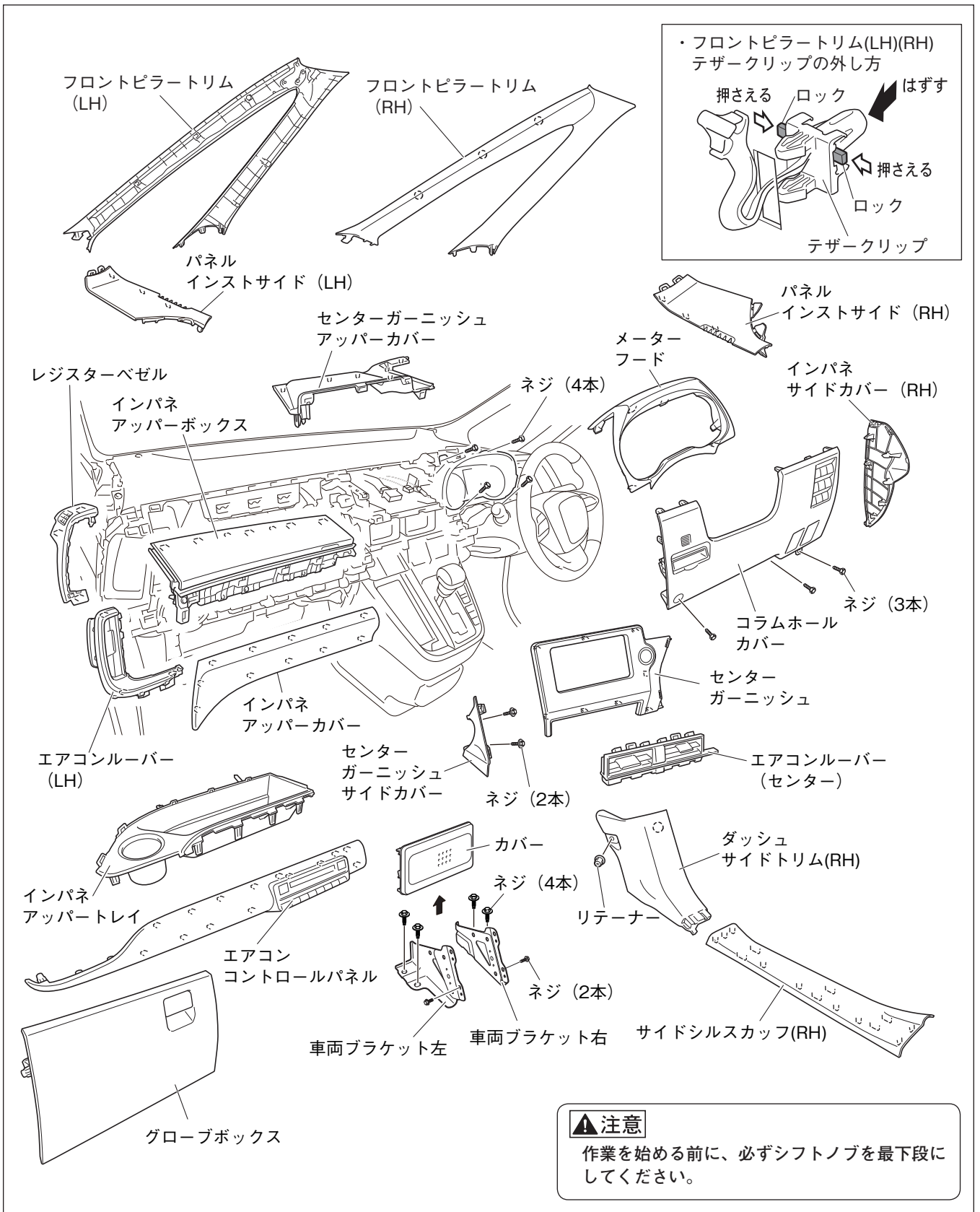
3. コネクターの差し込み部分に粘着部が
あたらないように固定テープを巻きます。



(3) ドライブレコーダー接続ケーブル⑱に固定テープ⑭を巻いてください。



■ 車両部品の取り外し



▲ 注意

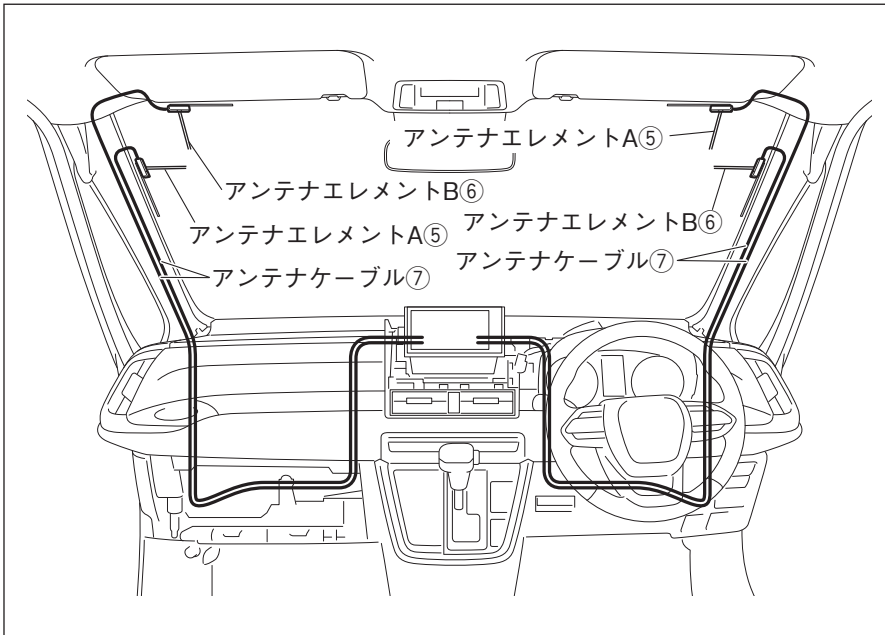
作業を始める前に、必ずシフトノブを最下段にしてください。

●次ページの取り外し手順に従って取り外してください。

1. フロントピラートリム (LH/RH) を取り外します。(クリップ各3箇所、テザークリップ各1箇所)
2. パネルインストサイド (LH/RH) を取り外します。(ツメ各4箇所)
3. メーターフードを取り外します。(ツメ8箇所)
4. メーターのネジ4本を取り外します。
※メーターのコネクターを外さないでください。
5. センターガーニッシュを取り外します。(ツメ10箇所)
6. センターガーニッシュアッパーカバーを取り外します。(ツメ8箇所)
7. 車両ブラケット左右を取り外します。(ネジ4本)
8. 車両ブラケット左右からカバーを取り外します。(ネジ2本)
9. サイドシルスカップ(RH)を取り外します。(ツメ15箇所)
10. ダッシュサイドトリム(RH)を取り外します。(リテーナー 1箇所、ツメ1箇所)
11. インパネサイドカバー (RH)を取り外します。(ツメ8箇所)
12. コラムホールカバーを取り外します。(ネジ3本、ツメ6箇所)
13. グローブボックスを取り外します。
14. エアコンコントロールパネルを取り外します。(クリップ2箇所、ツメ18箇所)
15. エアコンルーバー (センター) を取り外します。(ツメ8箇所)
16. センターガーニッシュサイドカバーを取り外します。(ネジ2本)
17. 助手席側インパネアッパーカバーを取り外します。(ツメ12箇所)
18. 助手席側インパネアッパートレイを取り外します。(ツメ6箇所)
19. エアコンルーバー (LH)を取り外します。(ツメ4箇所)
20. レジスターベゼルを取り外します。(ツメ4箇所)
21. 助手席側インパネアッパーボックスを取り外します。(ツメ10箇所)

■ TV アンテナの取り付け方

取付概要



1. 左図のように配線します。

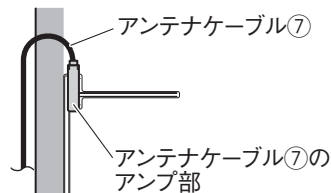
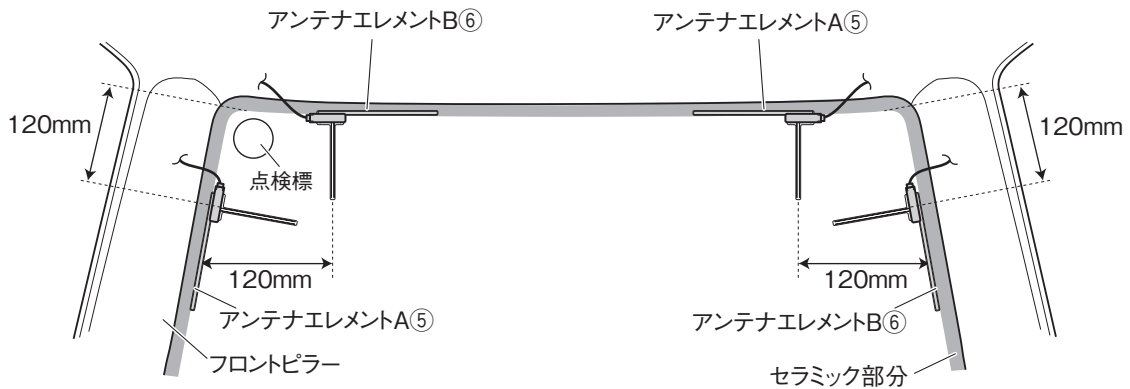
▲注意

- ・ アンテナエレメントA⑤、アンテナエレメントB⑥の取り付け位置を十分に確認してから作業を行ってください。
- ・ 貼り付け面の油分や汚れをきれいに拭き取ってください。
- ・ アンテナエレメントを折り曲げたり、傷を付けないでください。

取り付け方

〈貼り付け位置〉

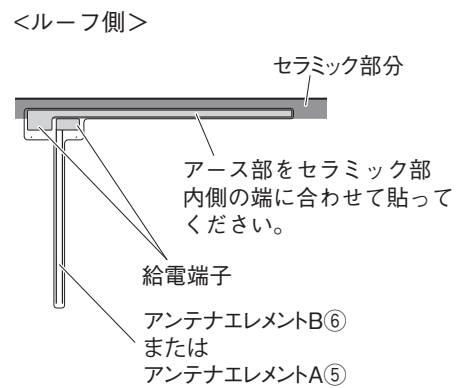
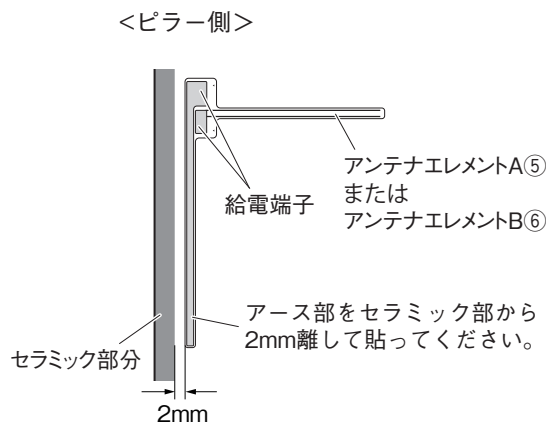
●アンテナエレメント貼り付け位置



▲注意

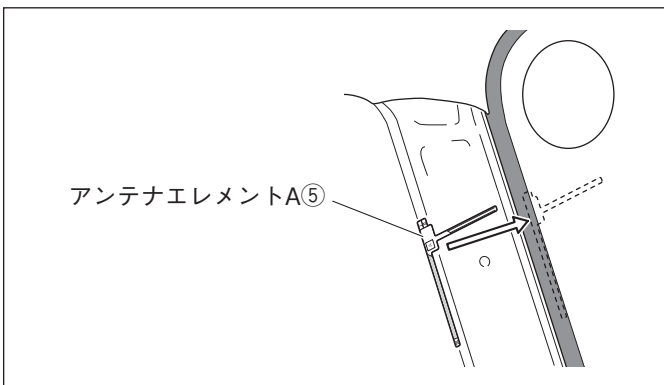
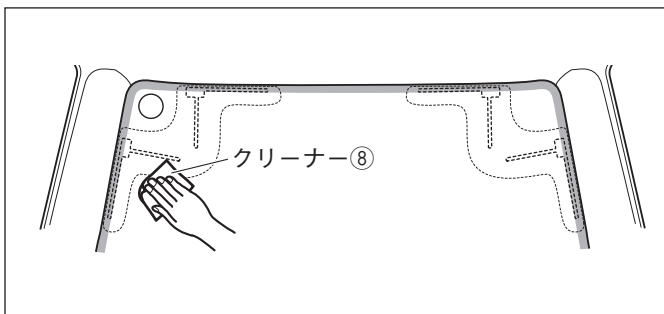
左図のような配線になる箇所は、アンテナケーブル⑦に負荷がかからないよう余裕をもたせて配線してください。

●アンテナエレメント貼り付け位置詳細



※イラストは助手席側ですが、運転席側も同様に取り付けてください。

<取り付け方>



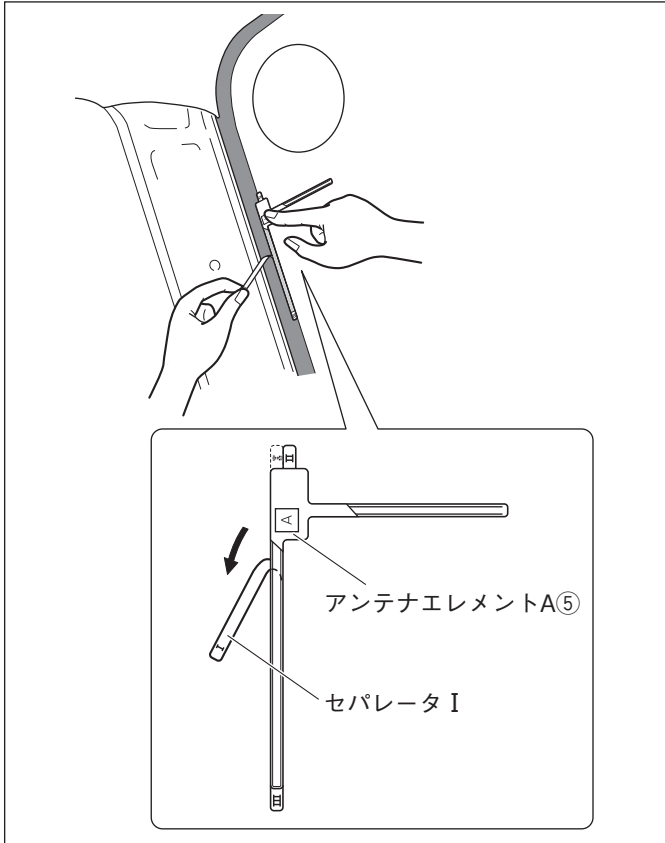
※ 以降のイラストは左側の説明ですが、その他の箇所も同様に取り付けてください。

1. アンテナエレメントA⑤、アンテナエレメントB⑥を貼り付けるすべての部分の汚れを、クリーナー⑧できれいに拭き取ります。

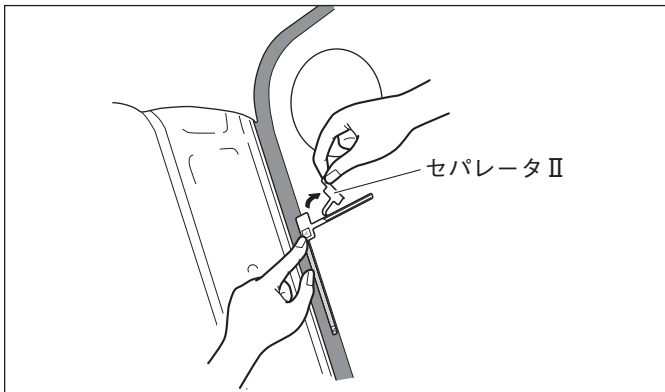
▲注意

クリーナー⑧は乾きやすいため、一度にすべての場所の汚れを拭き取ってください。

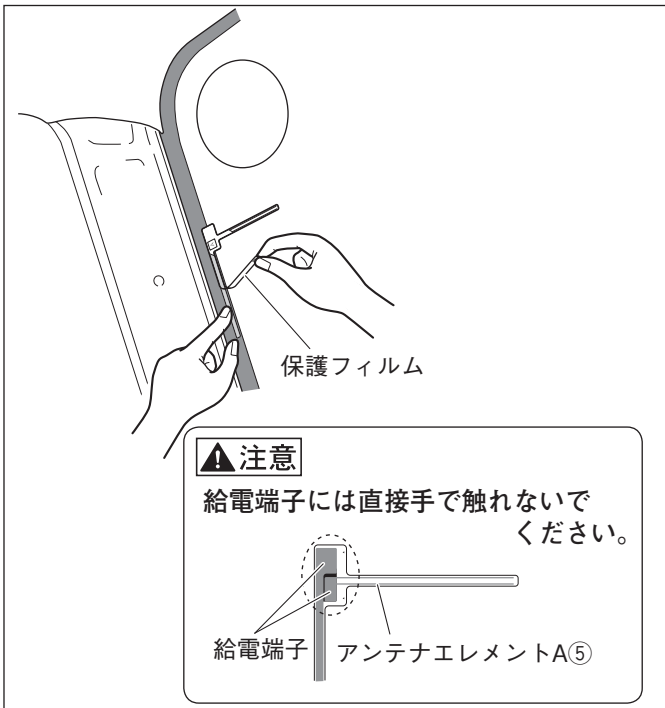
2. P13～P14の貼り付け位置を参照して貼り付け位置を決定し、その位置にアンテナエレメントA⑤を当てます。



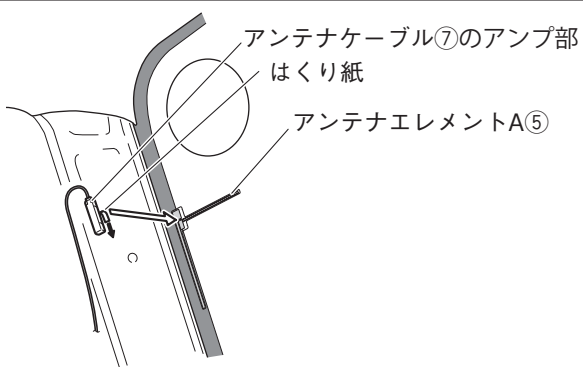
3. アンテナエレメントA⑤を押さえながらセパレータ I をはがし、アンテナエレメントを貼り付けます。



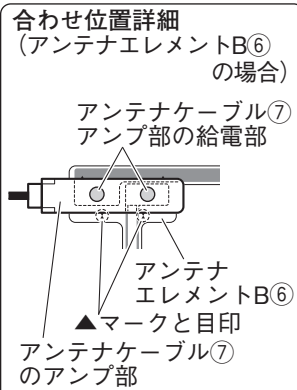
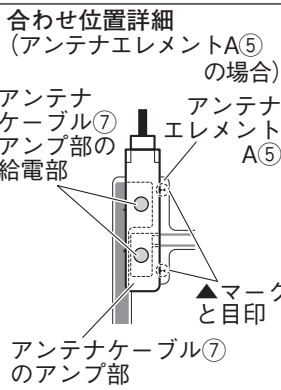
4. アンテナエレメントA⑤を押さえながらセパレータ II をはがし、アンテナエレメントを貼り付けます。



5. 樹脂製のヘラなどでフィルムの上からアンテナエレメントA⑤を十分に密着させて、保護フィルムを静かにはがします。



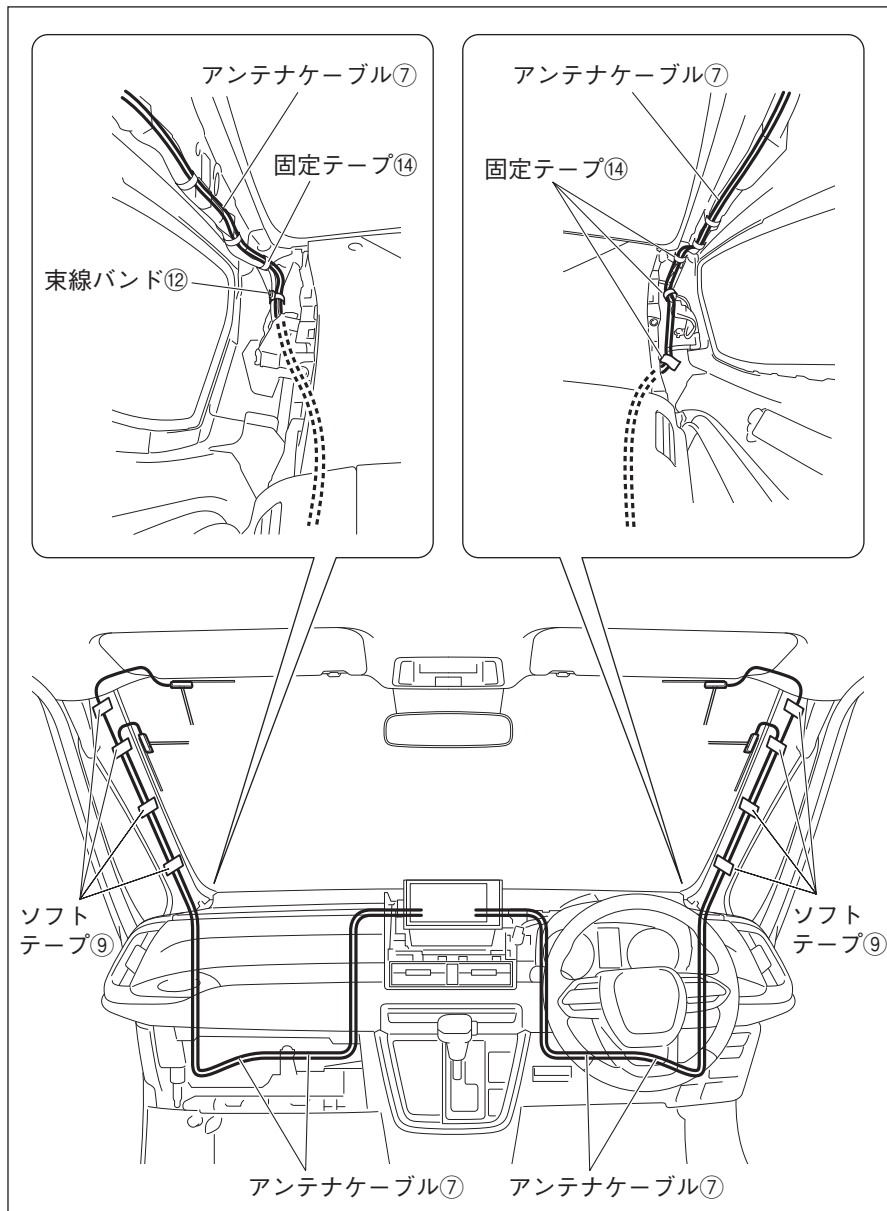
6. アンテナエレメントA⑤の給電端子にアンテナケーブル⑦のアンプ部を貼り付けます。
アンテナケーブル⑦のアンプ部の目印をアンテナエレメントA⑤に合わせて貼り付けてください。



▲注意

アンプ部の給電部が、アンテナエレメントの給電端子のほぼ中央で接触するように貼り付けてください。

〈配線と固定〉



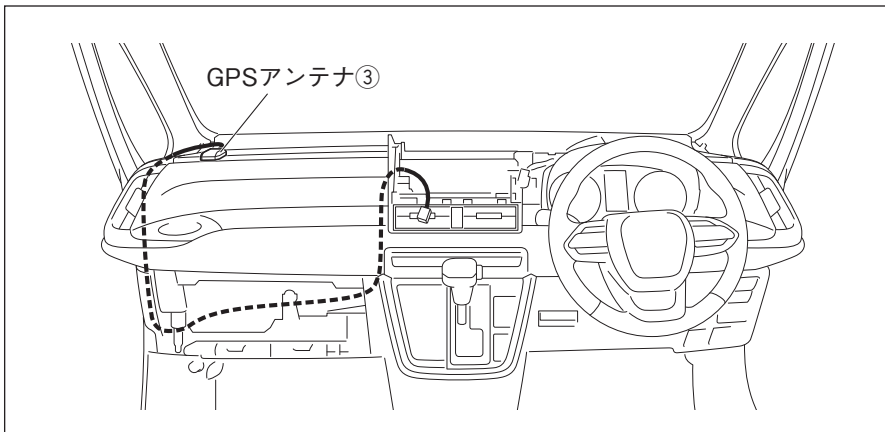
1. ソフトテープ⑨と固定テープ⑭および束線バンド⑫で固定しながらアンテナケーブル⑦を配線します。

注記

- ・アンテナケーブル⑦、ソフトテープ⑨、固定テープ⑭および束線バンド⑫は、カーテンエアバッグの部品と接触しないように配策・固定してください。
- ・ソフトテープ⑨および固定テープ⑭でフロントピラートリムの固定クリップ穴をふさがらないでください。また、フロントピラートリムの当てリブ部と干渉しないようにしてください。

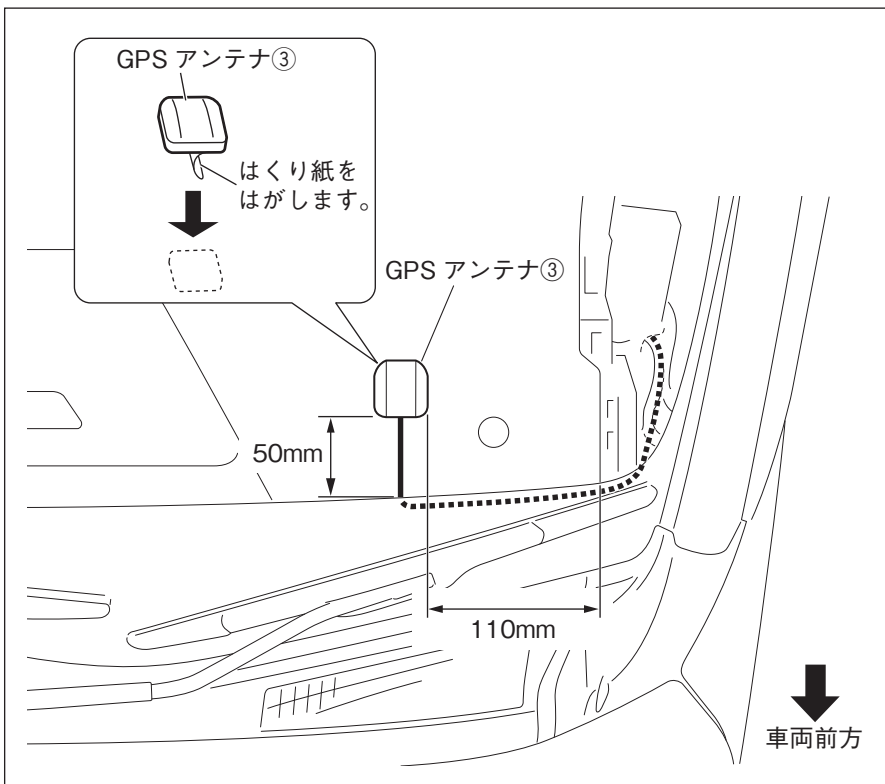
■ GPS アンテナの取り付け方

取付概要



1. 左図のように配線します。

取り付け方



1. GPSアンテナ③の取付位置を確認します。
2. 取付位置の油などの汚れをきれいに拭き取ります。
3. GPSアンテナ③のはくり紙をはがし、ダッシュボードに貼り付けます。
4. フロントウィンドウとダッシュボードのすき間にGPSアンテナケーブルを押し込み配線します。

▲ 注意

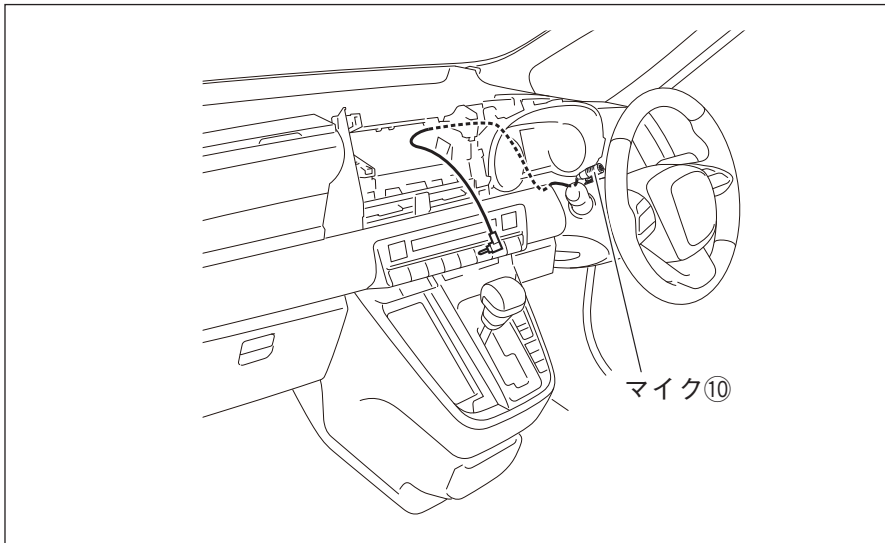
GPS アンテナ③を貼り付ける面の油汚れなどをきれいに拭き取ってください。汚れていると粘着力が低下し固定できなくなります。

▲ 注意

安全のため、エアバッグ動作エリアには絶対に設置しないでください。

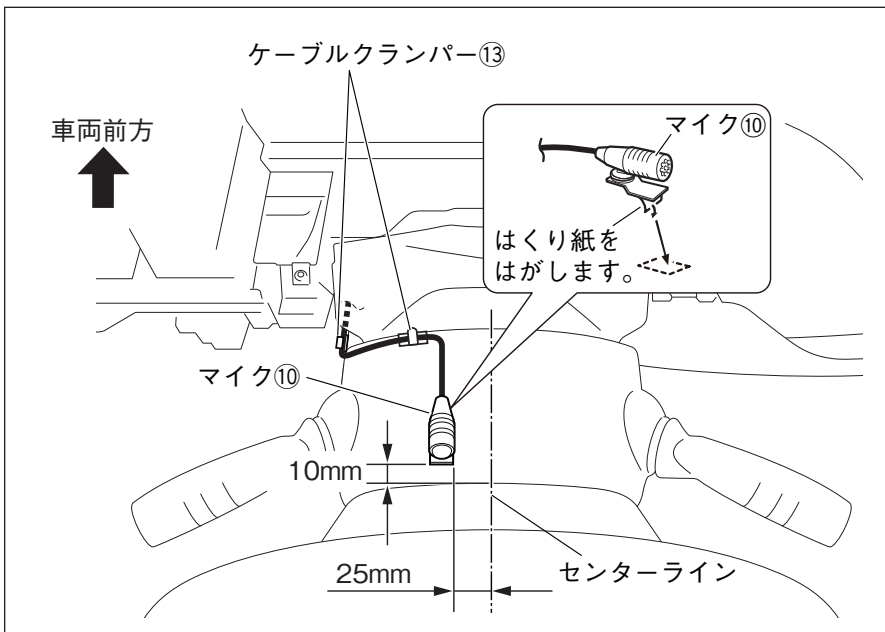
■ マイクの取り付け方

取付概要



1. 左図のように取り付けます。

取り付け方



1. マイク⑩の取付位置を確認します。
2. 取付位置の油などの汚れをきれいに拭き取ります。
3. マイク⑩のはくり紙をはがし、ステアリングコラムカバーに貼り付けます。
4. マイク⑩のケーブルをケーブルランパ⑬で固定します。

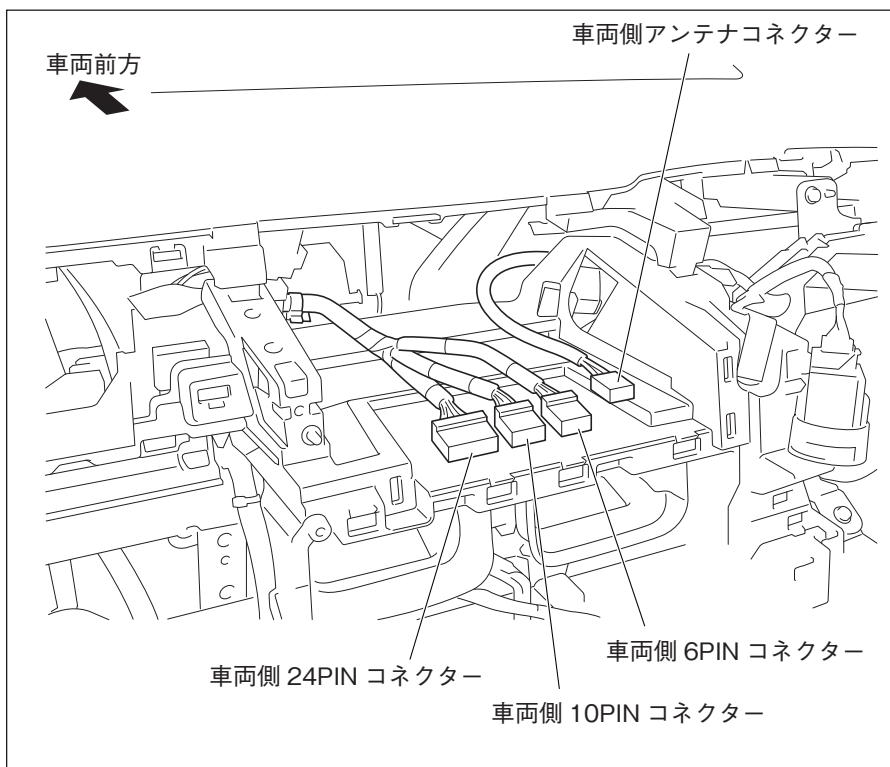
▲ 注意

マイク⑩を貼り付ける面の油污などをきれいに拭き取ってください。汚れていると粘着力が低下し固定できなくなります。

注記

配線終了後、ステアリングのチルト操作等を行い、マイク⑩のケーブルと干渉しないことを確認してください。

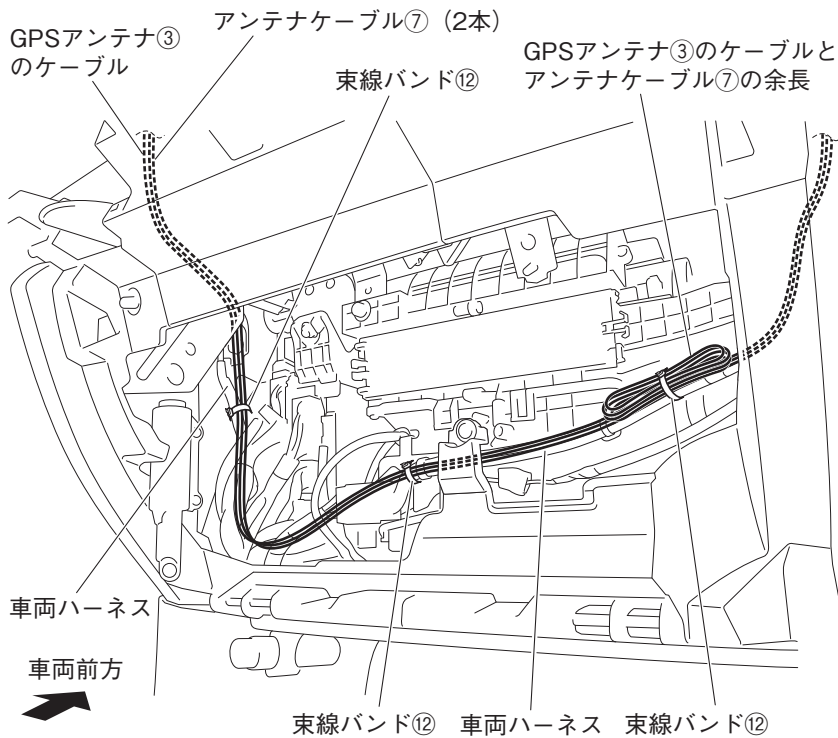
■ コネクターの取り出し



1. 10PIN、6PIN、24PINと車両側アンテナコネクタの線が車両ハーネスにテープで固定されているので、このテープを外します。
2. コネクタを引き出します。

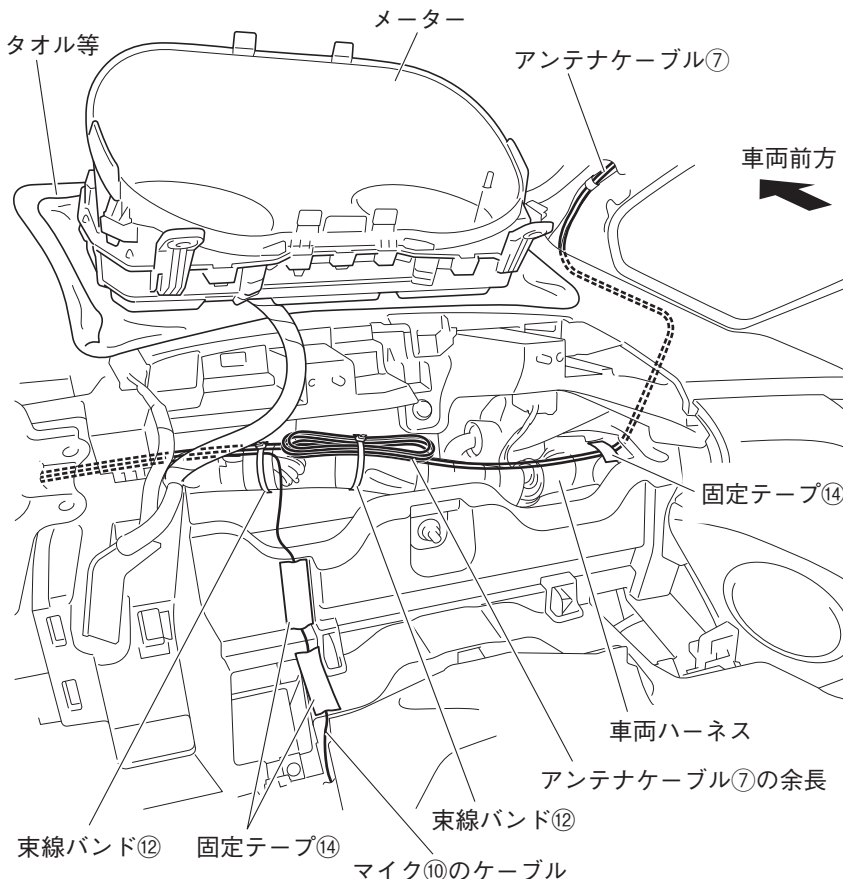
■ 配線

<助手席側：グローブボックス取り付け部奥の配線>



1. GPSアンテナ③のケーブルとアンテナケーブル⑦2本をダッシュボード助手席側からグローブボックス取り付け部奥を通して、ナビゲーション取り付け部まで配線します。ケーブルと余長は束線バンド⑫で車両ハーネスに固定します。

<運転席側：メーター裏の配線>



2. ダッシュボードの上面をタオルなどで保護し、メーターを置きます。

▲注意

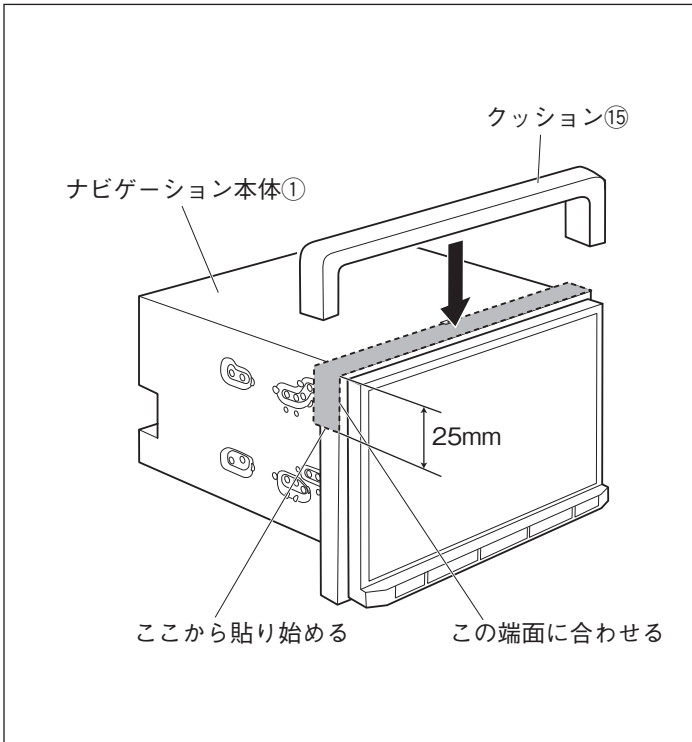
- ・メーターのコネクターを外さないで作業を行ってください。
- ・外した場合は、事前と復元時に所定の作業が必要です。サービスマニュアルを参考に行ってください。

3. アンテナケーブル⑦2本をダッシュボード運転席側からメーター裏を通して、ナビゲーション取り付け部まで配線します。アンテナケーブル⑦2本は固定テープ⑭と束線バンド⑫で車両ハーネスに固定します。余長は束線バンド⑫で車両ハーネスに固定します。マイク⑩のケーブルを図のように配線し、固定テープ⑭で車両ハーネスに固定しながら、アンテナケーブル⑦と一緒にナビゲーション取り付け部まで配線します。

▲注意

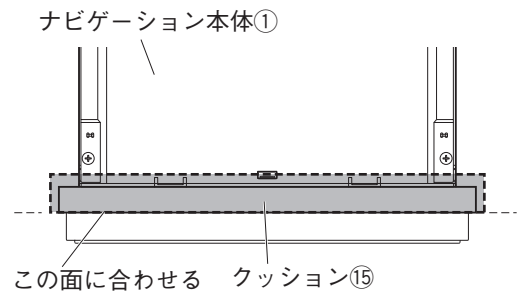
- ケーブル類をはさみ込まないようにしてください。

■ ナビゲーション本体の取り付け

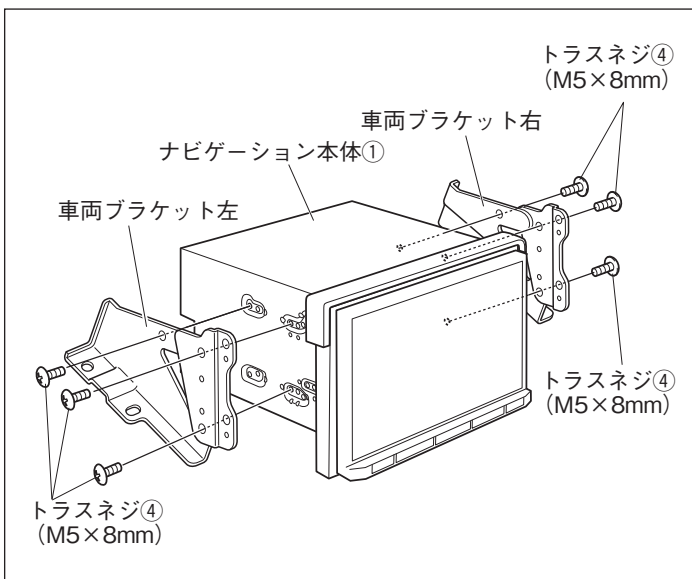


1. ナビゲーション本体①の図の位置にクッション⑮を貼り付けます。

<天面から見た図>



<ナビゲーション本体を横から見た図>

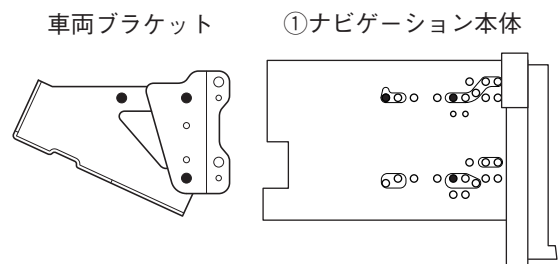


2. 車両ブラケット左右をナビゲーション本体①に取り付けます。

👉 アドバイス

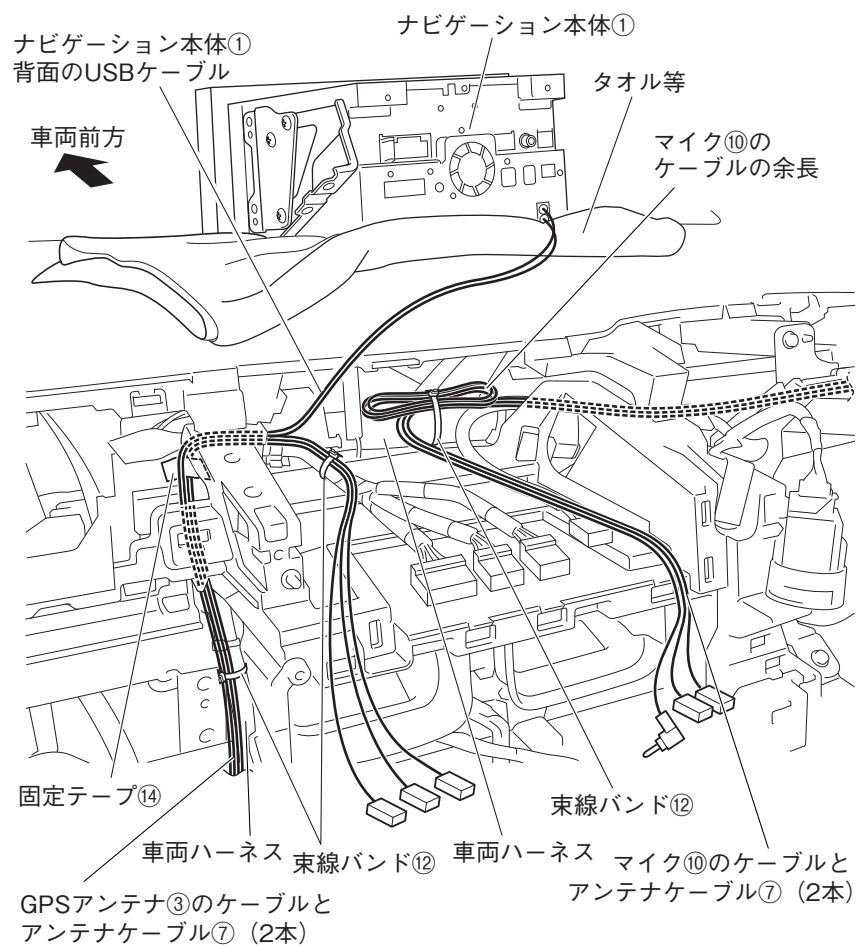
ナビゲーション本体①のネジ穴と車両ブラケット左右の穴が中心で合うように取り付けてください。

<使用する穴位置>



※イラストは左側ですが、右側も同様です。

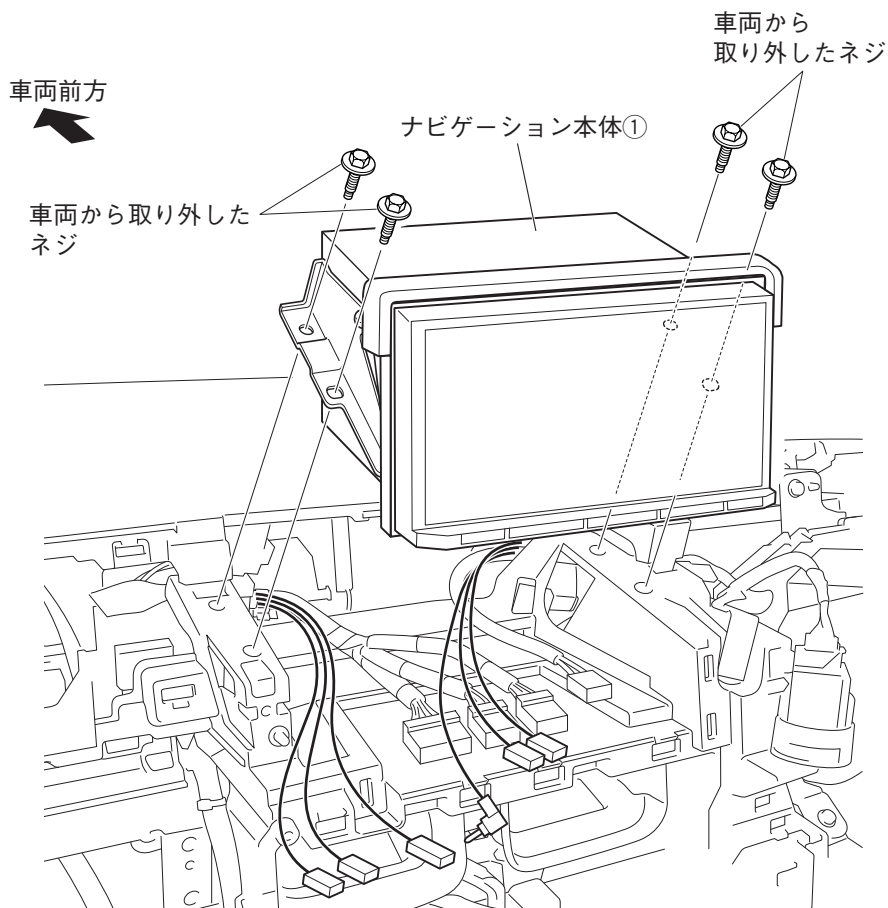
<ナビゲーション取り付け部の配線>



3. 運転席側からのアンテナケーブル⑦2本と、マイク⑩のケーブルおよび余長を束線バンド⑫で車両ハーネスに固定します。
4. 助手席側からのアンテナケーブル⑦2本とGPSアンテナ③のケーブルを、固定テープ⑭で左図の位置に固定します。
5. ダッシュボードの上をタオルなどで保護し、ナビゲーション本体①を逆さにして置きます。
6. 助手席側からのアンテナケーブル⑦2本と、GPSアンテナ③のケーブル、およびナビゲーション本体①のUSBケーブルを束線バンド⑫で車両ハーネスに固定します。
7. ナビゲーション本体①から出ているUSBケーブルをグローブボックス側へ配線します。

▲注意

ナビゲーション本体①背面のUSBケーブルは、板金エッジ、樹脂エッジ、および可動部に干渉しないように配線してください。



8. 結線図を参照して配線を接続します。

9. ナビゲーション本体①を車両へ取り付けます。

10. ナビゲーション本体①を車両から取り外したネジで車両に取り付けます。

取り付ける際は、ゆるみのないよう締め付けてください。また、ネジおよび指示なきボルトは、がたや破損が発生しないトルクで締め付けてください。

👉 アドバイス

- ハーネスやケーブルをコンソール内の空いている方に逃がすようにして取り付けてください。ナビゲーション本体①の裏側に固まっていると取り付けできない場合があります。
- ゴムブッシュ付近にケーブルやコードが掛からないようにして取り付けてください。ケーブルやコードを挟み込んだり、取り付けできない場合があります。

● コード類を配線する際は、下記の点に注意してください。

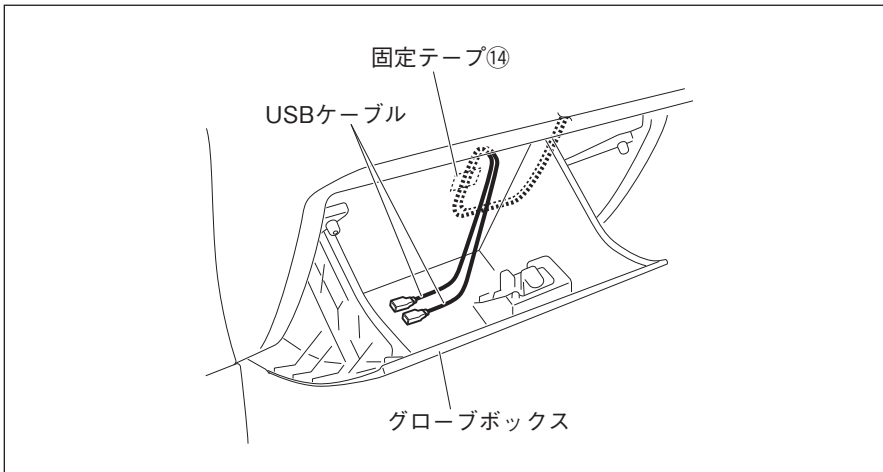


車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類の配線時に金属部と接触するところは、絶縁テープを巻く

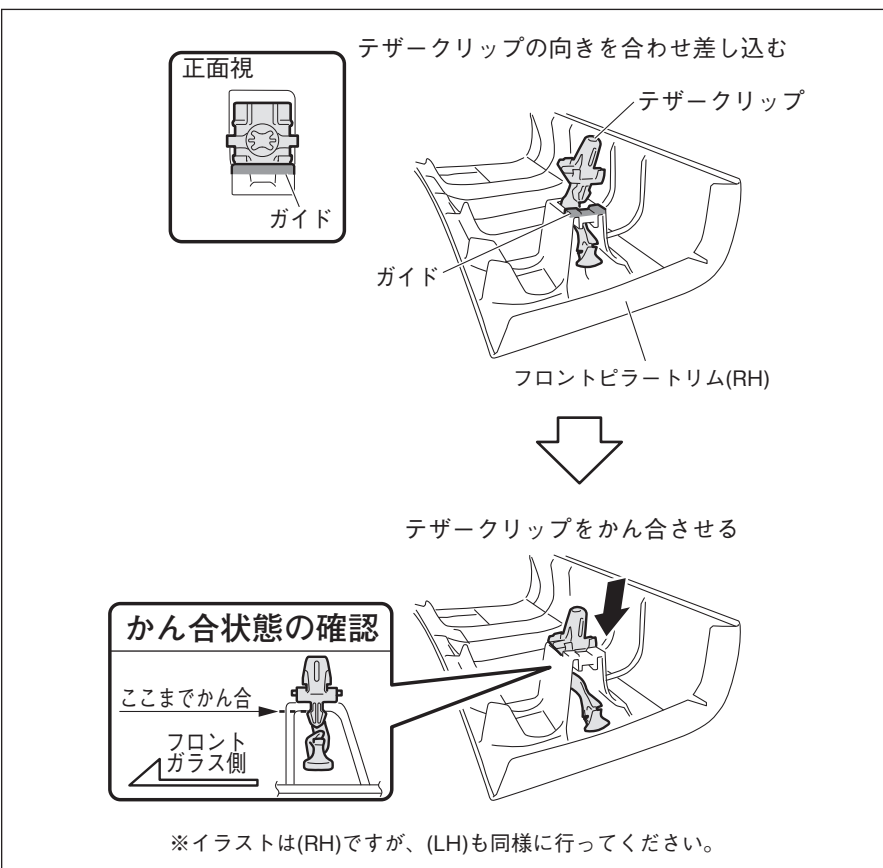
コード類の被覆が切れて金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

■ USB ケーブルの配線



1. グローブボックスを開いた状態にします。
2. USBケーブルを固定テープ⑭で固定しながら、グローブボックス内まで配線します。

■ 車両部品の復元



1. 取り外しと逆の手順で取り付けます。
2. フロントピラー(trim)(LH)(RH)上部のテザークリップは、左図の通り復元してください。

- ・ 車両部品復元時に一時的に取り外した部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取り付け前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締め付けトルク等)
- ・ 取り付け作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。
車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因になります。

- ネジの締め付けトルクが規定されているものがある場合は、規定のトルクで締め付けてください。

▲ 注意

バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。
サービスマニュアルを参考に初期化作業を行ってください。

取り付け完了後の点検・調整

1. 取り付けの確認

1. 配線や取り付けに異常がないか点検してください。
2. 特に車両ハーネス等を無理に引っ張ったり、かみ込んでいないか確認してください。
3. ネジ類の締め付けが完全か、締め忘れはないか確認してください。

2. 作動確認

1. バッテリーのマイナス端子を取り付けます。
2. エンジンを始動した状態でナビゲーションの動作確認を行ってください。
(トラブルシュートについてはナビゲーションに付属の取扱説明書に記載してあります。)

3. 最終確認

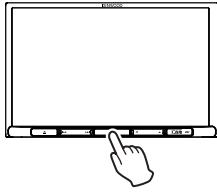
1. 車両のメーター、警告灯、ヘッドランプ、エアコン、時計、ホーン、ワイパー、アクセサリースOCKETなどが正常に動作することを確認してください。

取り付け店様へのお願い

必ずお客様に操作要領を説明してください。

ナビゲーションの動作確認と設定

接続の確認と車両情報の設定



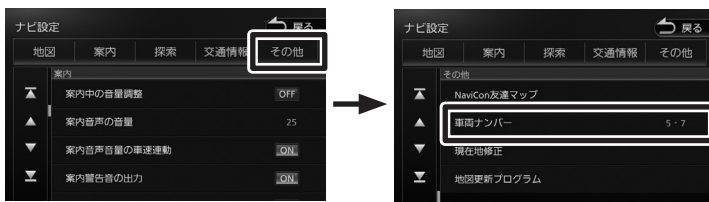
1. パーキングブレーキをセットして、エンジンを始動します。
2. 【HOME】を押します。



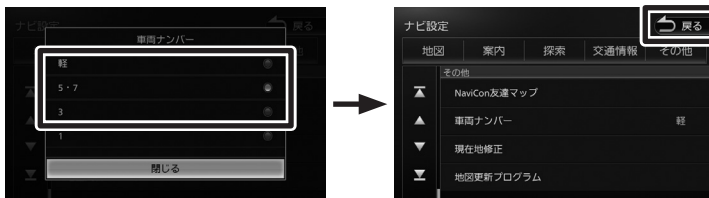
3. [情報・設定] にタッチします。
4. [接続] にタッチします。



5. 次ページの「接続情報画面の見方」を参照して、接続を確認します。
6. [戻る] にタッチします。
7. [ナビ] にタッチします。



8. [その他] にタッチします。
9. [車両ナンバー] にタッチします。



10. 取り付けけた車両にあった車両ナンバーにタッチします。
11. [戻る] にタッチします。



接続情報画面の見方

●リバース信号

リバース信号コードの接続状態を表示します。

正しく接続されている場合は、シフトレバーを R (リバース) の位置にすると [ON]、R (リバース) 以外にすると [OFF] と表示されます。

●パーキングブレーキ

パーキングブレーキ信号コードの接続状態を表示します。

正しく接続されている場合は、パーキングブレーキがかかっているときは [ON]、解除されているときは [OFF] と表示されます。

▲注意

ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキを操作し、正しく表示されることを確認してください。

●イルミネーション

イルミネーション信号コードの接続状態を表示します。

正しく接続されている場合は、スモールライトオンまたはヘッドライトオンで [ON]、スモールライトオフまたはヘッドライトオフで [OFF] と表示されます。

●GPS

GPS アンテナの接続状態を表示します。

正しく接続されている場合は、測位状態によって [未測位] または [測位中] と表示されます。

●車速パルス

車速パルスの値を表示します。

車速信号コードが正しく接続されている場合、停車中は [0]、車両を少し動かすと数値が変わります。

▲注意

車両を動かす際は、周囲の安全を十分確認してから行ってください。

●センサー学習

センサーの学習状態を表示します。

[学習中] と表示されますので、そのままにしておきます。

●ドライブレコーダー

本機対応ドライブレコーダー (別売品) を接続しているときの接続状態を表示します。

正しく接続されている場合は、ホーム画面にドライブレコーダーボタンが表示されます。

一体型ナビ連動タイプ、または前後方録画別体型ナビ連動タイプのドライブレコーダーを接続した場合は [接続中] と表示されます。

ナビ接続タイプのドライブレコーダーを接続した場合は、接続状態は表示されません。

●ETC 車載器

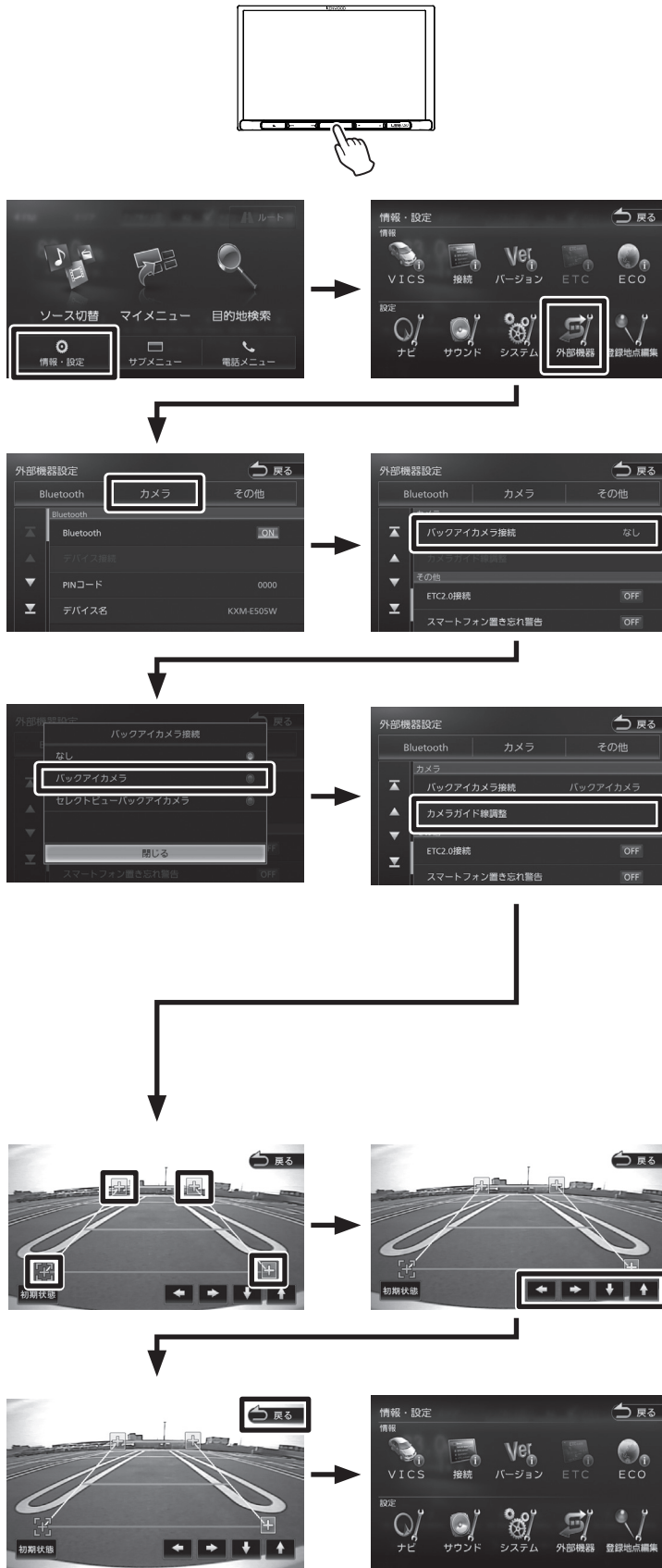
ETC 車載器 (別売品) を接続した場合は [接続中]、接続しない場合は空欄となります。

ETC2.0 車載器 (別売品) を接続した場合は、「ETC 車載器」が表示されている位置に「ETC2.0 車載器」と表示され、[接続中] と表示されます。

※ ETC2.0 車載器 (別売品) を接続した場合は設定が必要です。33 ページを参照して設定を行ってください。

■ バックアイカメラの設定とガイド線の調整

- ・バックアイカメラを接続した場合は、下記 1. から 7. の設定を行ってください。
- ・ガイド線が表示されないバックアイカメラの場合は、8. 以降のガイド線の調整も行ってください。



1. パーキングブレーキをセットして、イグニッションキーをONにします。
2. 【HOME】を押します。

3. 【情報・設定】にタッチします。
4. 【外部機器】にタッチします。

5. 【カメラ】にタッチします。
6. 【バックアイカメラ接続】にタッチします。

7. 【バックアイカメラ】にタッチします。
 - ガイド線が表示されるバックアイカメラの場合は、【戻る】にタッチして、作業を終了します。
 - ガイド線が表示されないバックアイカメラの場合は、手順8へ進んでください。

アドバイス

- ランディの場合
 - ・純正用品のバックアイカメラには、ガイド線の表示機能はありません。
 - ・ナビゲーションにて、下表の数値を参考に設定作業を行ってください。

8. 【カメラガイド線調整】にタッチします。
9. 調整するカーソル（**+**）にタッチします。
10. **←**/**→**/**↓**/**↑** に、それぞれ下表の回数タッチして、ガイド線の位置を調整します。

カーソル + の位置	←	→	↓	↑
左上	15	0	75	0
右上	0	40	75	0
左下	0	60	0	25
右下	0	0	0	20

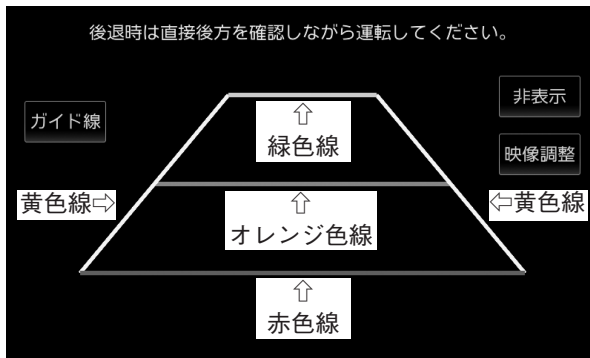
【初期状態】：ガイド線の位置を初期状態に戻します。

11. 【戻る】にタッチします。
12. 作業終了後、ガイド線が問題なく表示されていることを確認してください。

ガイド線について

※ガイド線はおおよその参考としてご使用ください。

(積載物、路面形状、カメラ取り付け誤差、タイヤ空気圧、車両購入後のタイヤのインチ変更、スタッドレスタイヤを装着の場合などにずれが生じることがあります。)



黄色線：ドアミラーを含む車幅
+左右それぞれ25cm程度。

赤色線：車両後端から0.5m程度

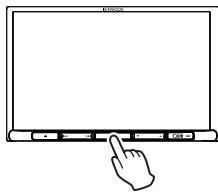
オレンジ色線：車両後端から1m程度

緑色線：車両後端から2m程度

※ ガイド線の形状は、カメラ画像の表示設定、車種によって異なります。

■ ステアリングリモコンの設定 (ランディの場合)

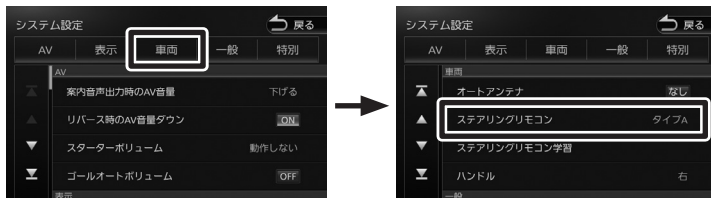
・ステアリングリモコンが装着されている場合は、下記の設定を行ってください。



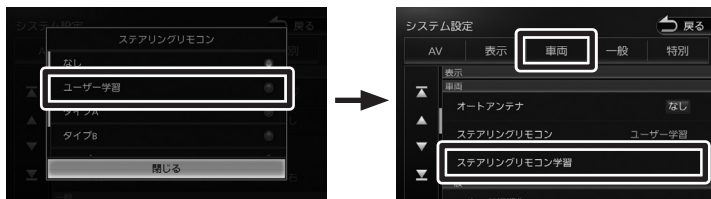
1. パーキングブレーキをセットして、イグニッションキーをONにします。
2. [HOME]を押します。



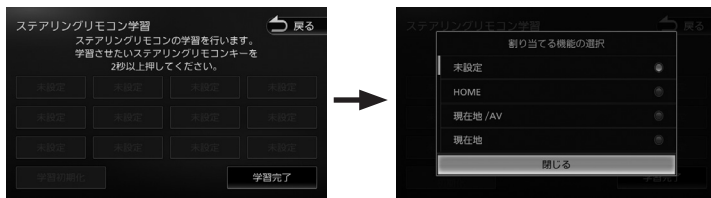
3. [情報・設定] にタッチします。
4. [システム] にタッチします。



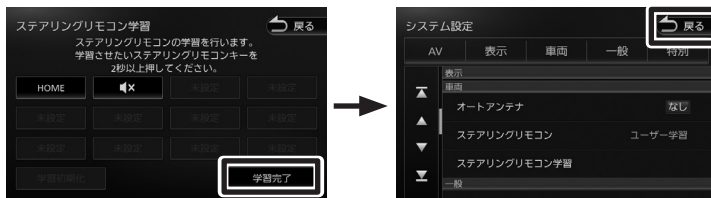
5. [車両] にタッチします。
6. [ステアリングリモコン] にタッチします。



7. [ユーザー学習] にタッチします。
 8. [車両] にタッチします。
 9. [ステアリングリモコン学習] にタッチします。
- ※ ステアリングリモコン学習画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。
ステアリングリモコンは押さないでください。



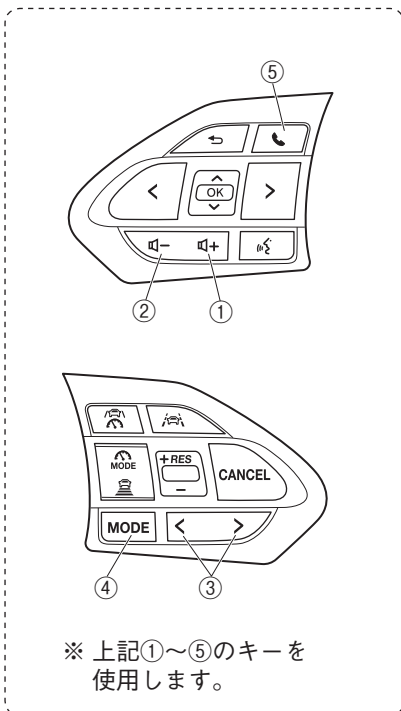
10. 機能を割り当てるステアリングリモコンのキーを2秒以上押します。
 11. 次ページに沿って、割り当てる機能をタッチします。
- 割り当てた機能が表示されます。
手順10.と11.をくり返して、すべてのキーに割り当てを行ってください。



12. [学習完了]をタッチします。
13. [戻る] にタッチします。

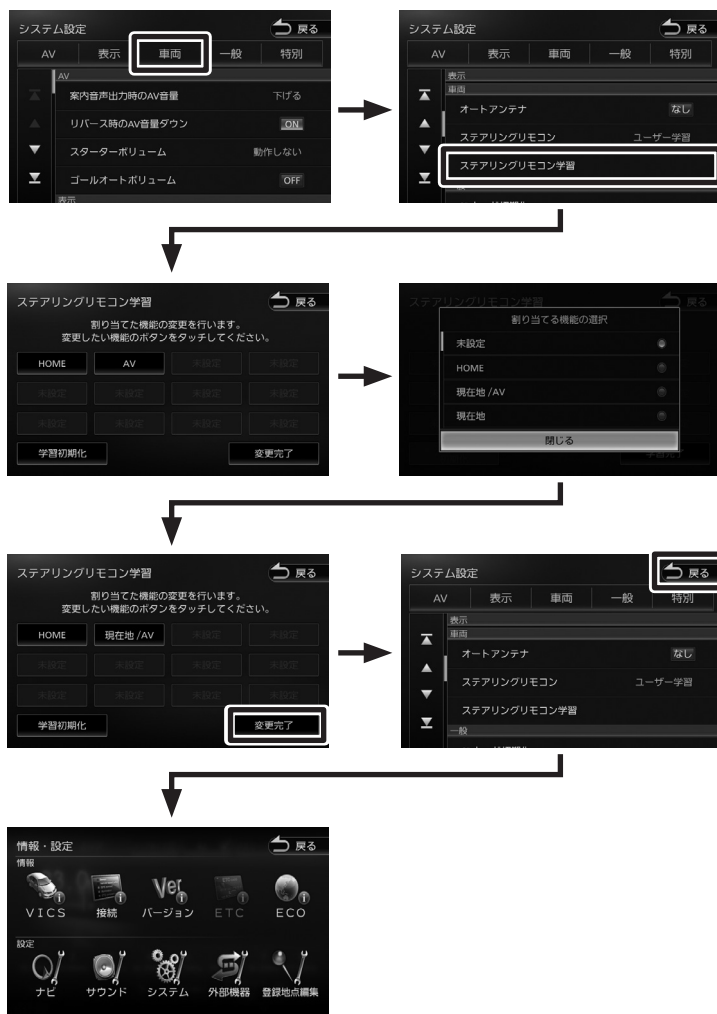


< ステアリングリモコンの割り当て：ランディの場合 >



ステアリングリモコンのキー	割り当てる機能	機能・動作
①	VOL ▲	<ul style="list-style-type: none"> AV の音量を調整 (0 ~ 40) します。 ハンズフリー通話中の音量を調整 (0 ~ 40) します。
②	VOL ▼	<ul style="list-style-type: none"> ナビゲーションの音声案内中の案内音量を調整 (1 ~ 40) します。
③		<ul style="list-style-type: none"> FM/AM/ 地デジ：放送局を切り替えます。FM/AM 受信中に押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。 音楽 / ビデオ再生：前 / 次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。押し続けると、早送り / 早戻しします。
④		<ul style="list-style-type: none"> 押すごとに AV ソースが切り替わります。 押し続けると、AV をオフ (STANDBY) にします。 AV のオフ中に押し続けると前のソースに戻ります。
⑤		<ul style="list-style-type: none"> ハンズフリーの電話を受けます。 着信時に押し続けると着信を拒否します。 通話中に押し続けるとハンズフリーの電話を切ります。(Bluetooth 接続中)

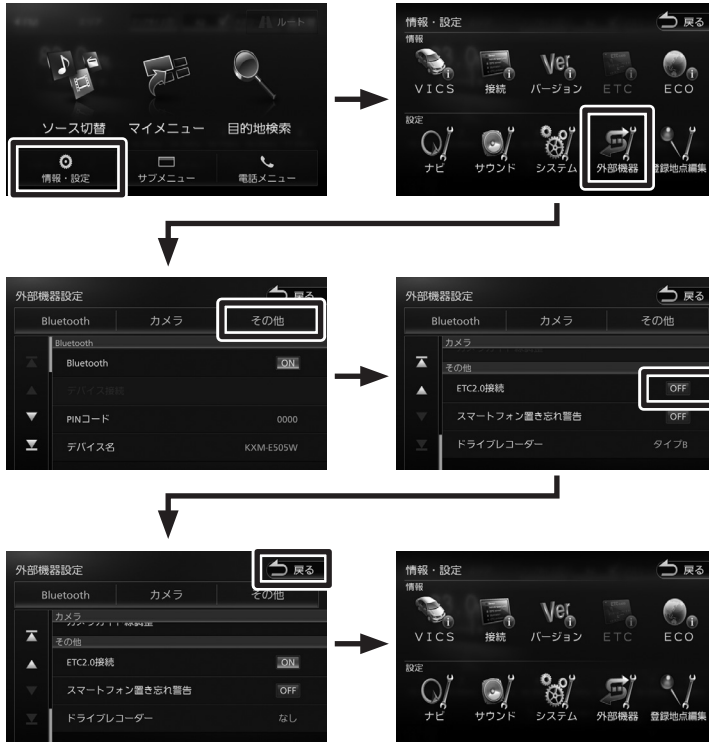
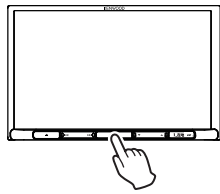
・独自に割り当てたステアリングリモコンキーの変更や消去、初期化ができます。初期化は手順3で [学習初期化] をタッチしてください。



- [車両] にタッチします。
- [ステアリングリモコン学習] にタッチします。
- 割り当てを変更するボタンをタッチします。
[学習初期化]：
ステアリングリモコンに割り当てたキー設定をすべて消去します。
- 割り当てる機能をタッチします。
[未設定]：
キーに割り当てた機能を消去します。
- [変更完了] をタッチします。
- [戻る] にタッチします。

■ ETC2.0 の設定

・ETC2.0 車載機を接続した場合は、下記の設定を行ってください。



1. パーキングブレーキをセットして、イグニッションキーをONにします。
2. 【HOME】を押します。

3. 【情報・設定】にタッチします。
4. 【外部機器】にタッチします。

5. 【その他】にタッチします。
6. 【ETC2.0接続】の【OFF】にタッチして、【ON】に切り替えます。

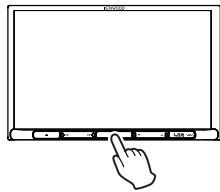
※ 初期設定は【OFF】に設定されています。

※ 本機の電源を入れなおすと、設定が反映されません。

7. 【戻る】にタッチします。

■ ドライブレコーダーの設定 <1>

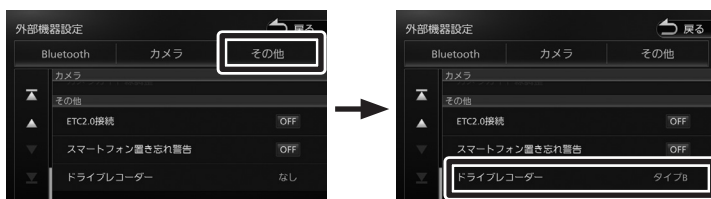
・ドライブレコーダーを接続した場合は、下記の設定を行ってください。



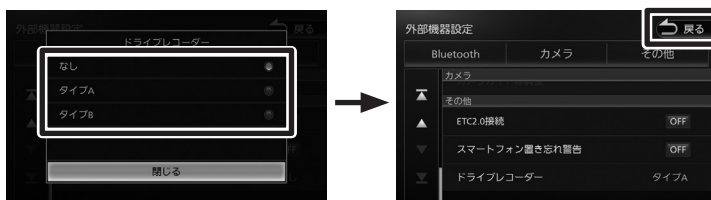
1. パーキングブレーキをセットして、イグニッションキーをONにします。
2. 【HOME】を押します。



3. 【情報・設定】にタッチします。
4. 【外部機器】にタッチします。



5. 【その他】にタッチします。
6. 【ドライブレコーダー】をタッチします。



7. 使用するドライブレコーダーをタッチします。
【タイプA】：
一体型ナビ連動タイプ、または前後方録画別体型ナビ連動タイプのドライブレコーダーを接続しているときに選択します。
【タイプB】：
ナビ接続タイプのドライブレコーダーを接続しているときに選択します。



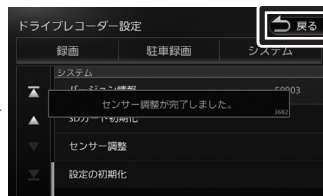
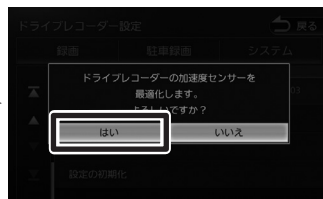
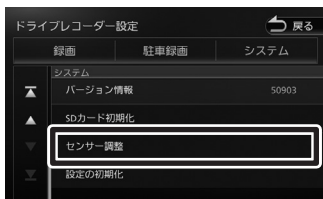
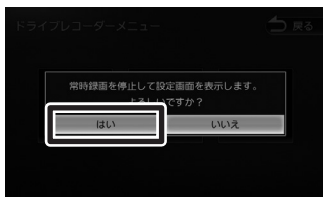
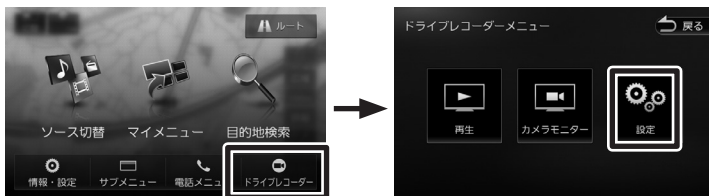
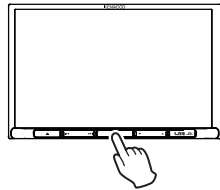
8. 【戻る】にタッチします。
9. 【戻る】にタッチします。
10. 【ドライブレコーダー】のタッチボタンが表示されていることを確認します。

■ ドライブレコーダーの設定 <2>

- ・ドライブレコーダー（一体型ナビ連動タイプ、または前後方録画別体型ナビ連動タイプ）を接続した場合、下記の設定を行ってください。

注記

ドライブレコーダーの取り付けを行った後、または再度取り付け角度を変更した場合も、このセンサー調整を実施してください。
センサー調整が正しく行われていない場合は、ブザーが鳴り続ける場合があります。ブザーが鳴り続ける場合には、再度センサー調整を実施してください。



注記

センサー調整は、平らな場所に停車している状態で実施してください。

1. パーキングブレーキをセットして、イグニッションキーをONにします。
2. 【HOME】を押します。
3. 【ドライブレコーダー】にタッチします。
4. 【設定】にタッチします。

5. 【はい】にタッチします。
6. 【システム】にタッチします。

7. 【センサー調整】にタッチします。
8. 【はい】にタッチします。

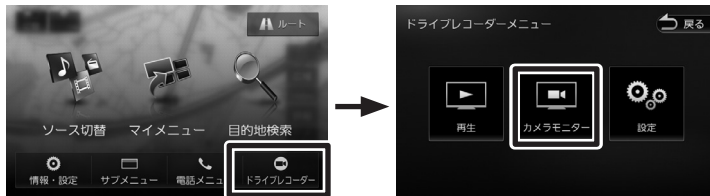
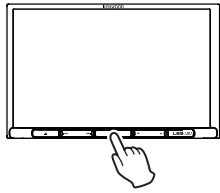
注記

調整中はイグニッションキーをOFFにしないでください。

9. 「センサー調整が完了しました。」と表示されたら、【戻る】にタッチします。

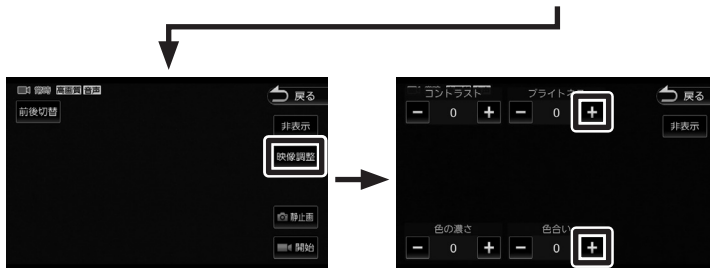
■ ドライブレコーダーの設定 <3>

- ・前後方録画別体型ナビ連動タイプのドライブレコーダーを接続した場合、下記の設定を行ってください。
(一体型ナビ連動タイプを接続した場合は、この設定は不要です。)

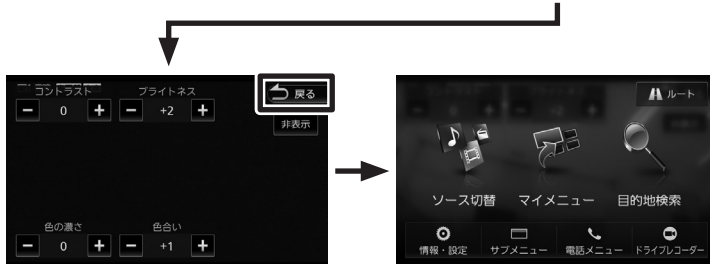


1. パーキングブレーキをセットして、イグニッションキーをONにします。
2. 【HOME】を押します。

3. 【ドライブレコーダー】にタッチします。
4. 【カメラモニター】にタッチします。



5. 【映像調整】にタッチします。
操作ボタンは5秒で消えますが、画面をタッチすると表示されます。
6. 【+】にタッチし、
 ブライツネス：+2
 色合い：+1 にします。
※ コントラスト及び色の濃さの調整は不要です。



7. 【戻る】にタッチします。